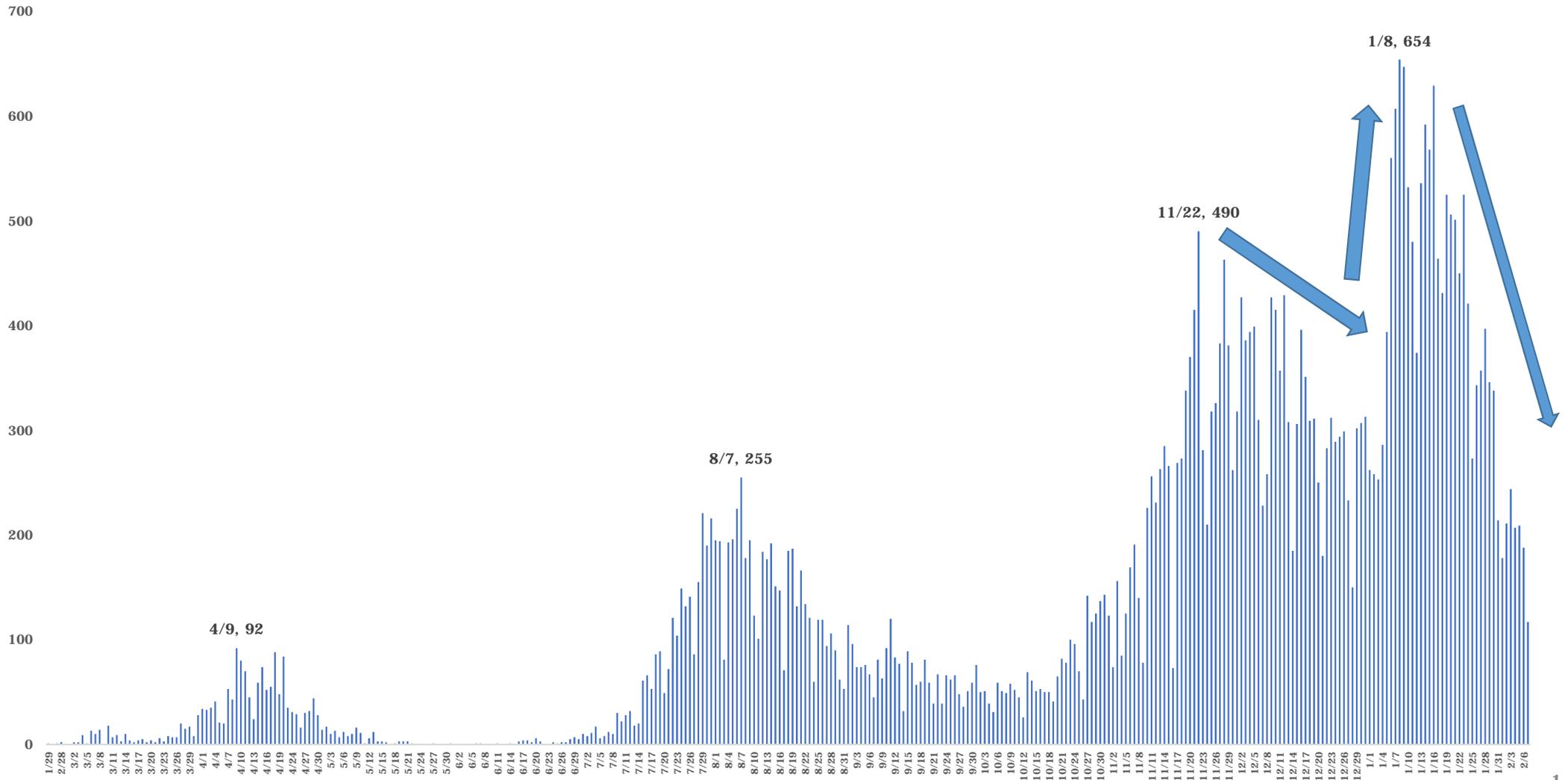
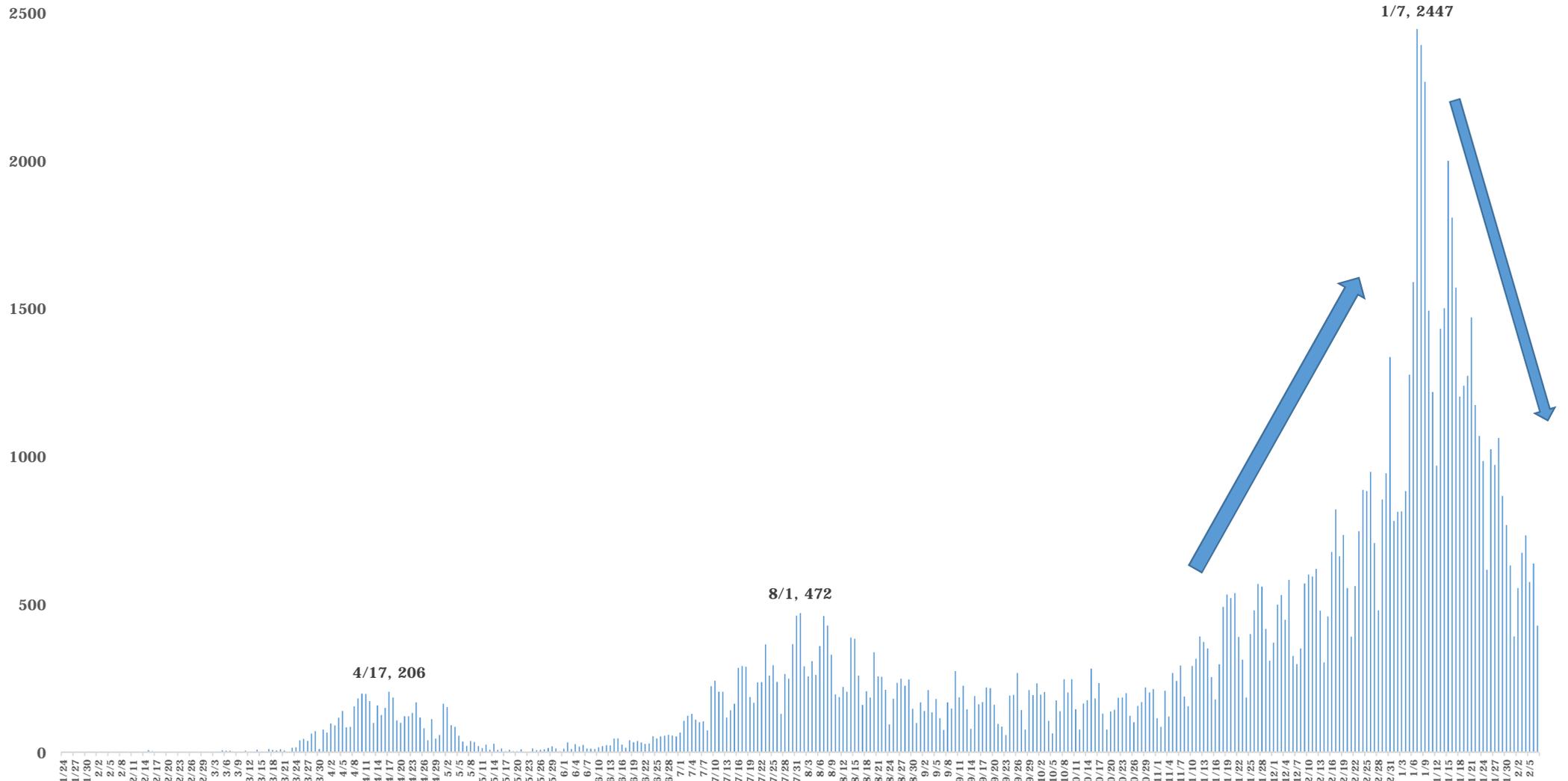


【第一波から第三波まで】陽性者数の推移（判明日ベース）

資料1-1

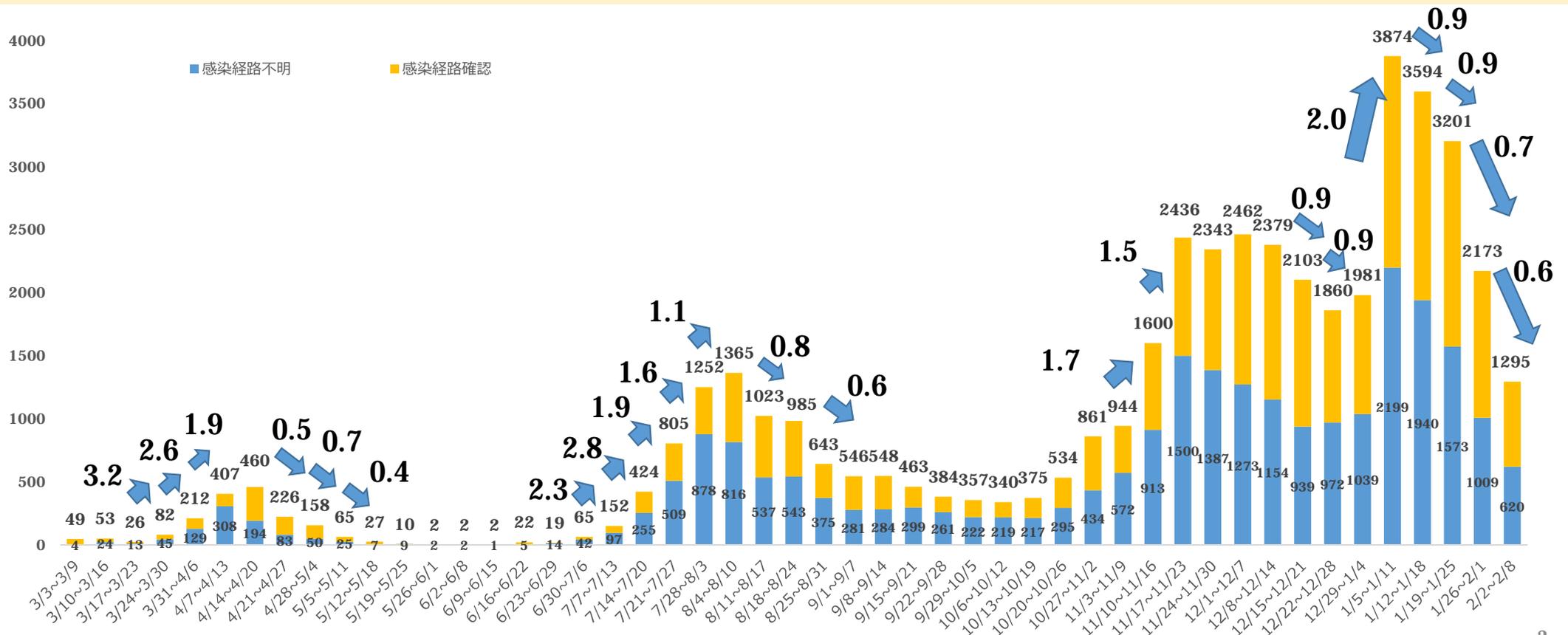


(参考:東京都)【第一波から第三波まで】陽性者数の推移(判明日ベース)



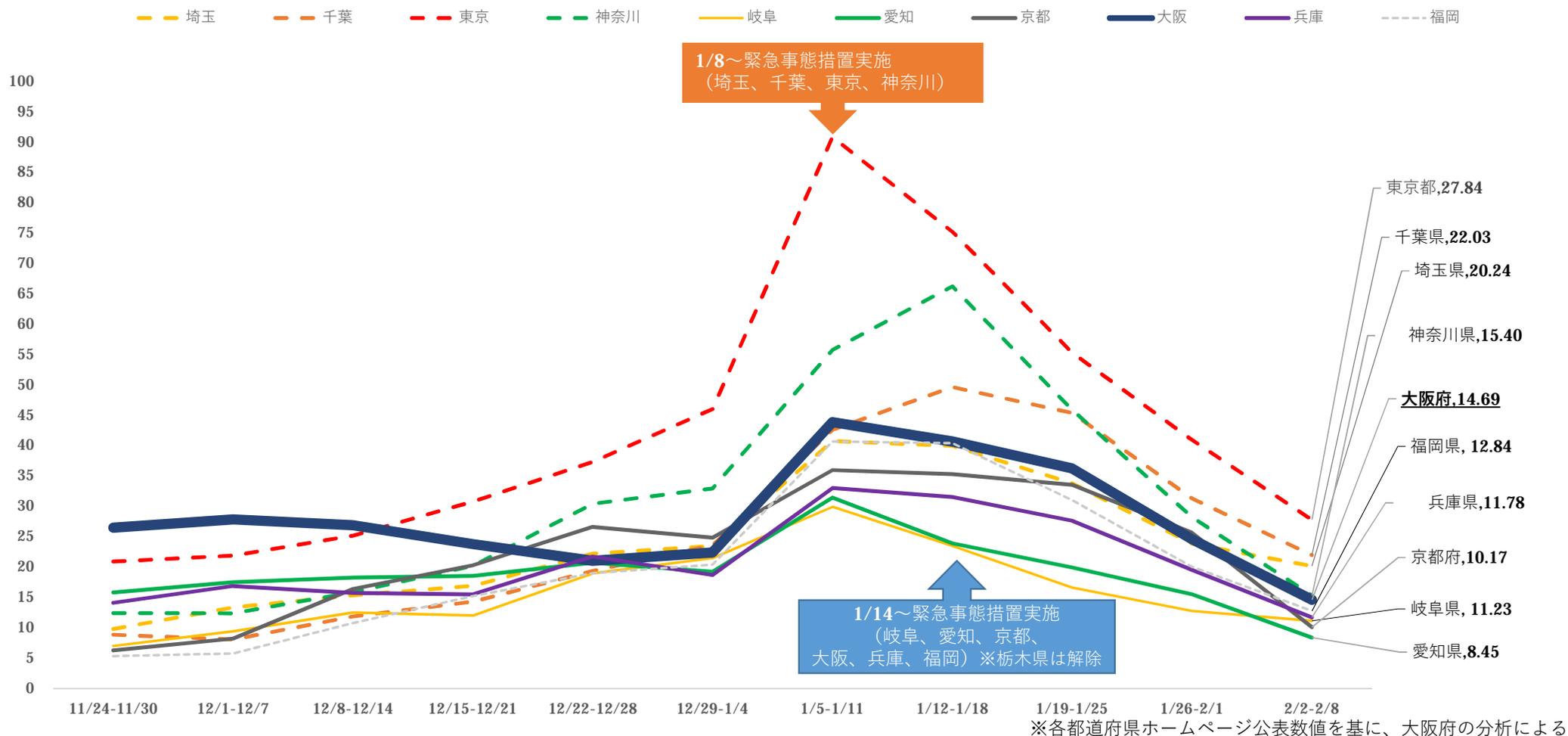
【第一波から第三波まで】7日間新規陽性者数の推移（判明日ベース）

- 第三波（1月以降）は、新規陽性者数が1日平均283人から急拡大。
- 緊急事態措置として、第一波と異なり、飲食店等への時短要請という「急所」を押さえた取組みを行っているが、新規陽性者数は急速度で減少し、大きな効果が見られる。



緊急事態宣言対象区域 週・人口10万人あたり新規陽性者数

◆ 緊急事態措置実施後、各都道府県で新規陽性者数が大きく減少。大阪府も直近2週間で大きく減少し、兵庫県や京都府と同様、国分科会指標ステージⅢの基準（15人）を下回っている。

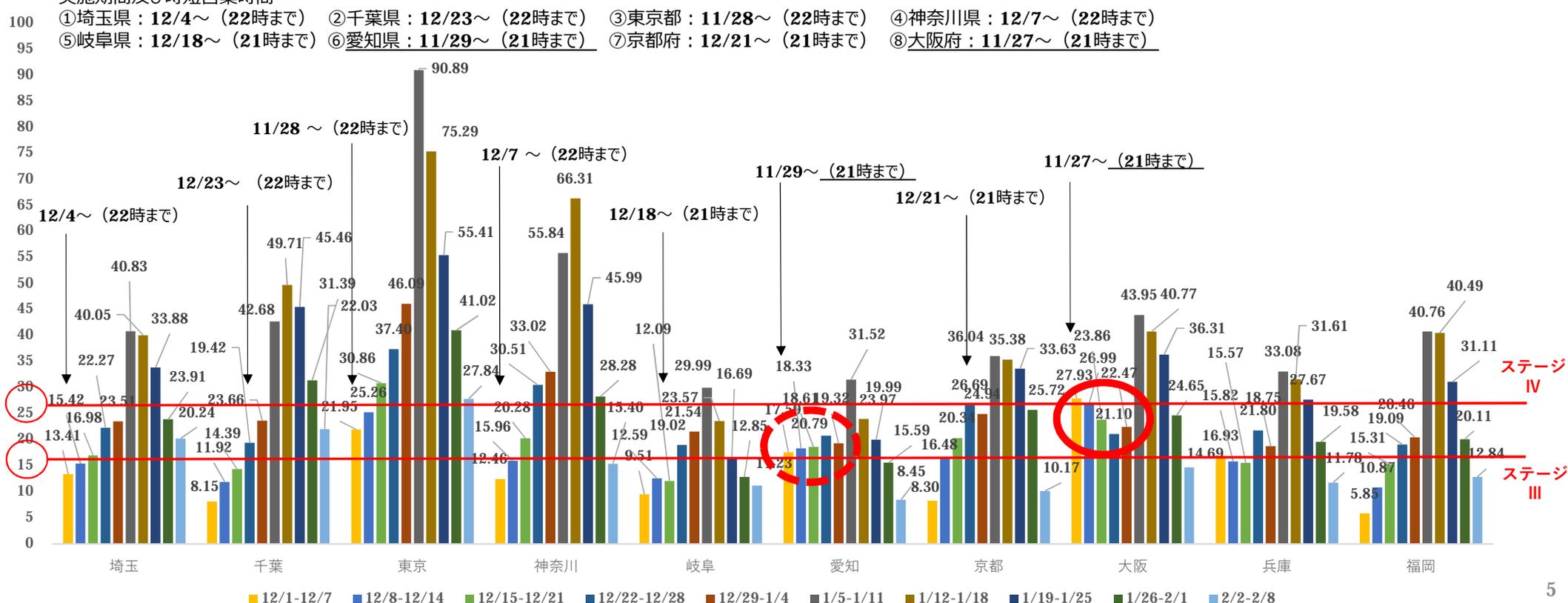


緊急事態宣言対象区域 週・人口10万人あたり新規陽性者数

◆ 兵庫県、福岡県を除いた各都府県は、11月又は12月以降、営業時短要請を実施。
 大阪府は11/27以降の時短要請の効果が12月中旬以降の新規陽性者数の減少として顕著に表れ、それにより、1月5日以降の感染急拡大において、東京都と異なり、新規陽性者数が最大654人でおさまった可能性がある。
 (参考 過去最多 東京 1/7 2,447人 神奈川1/9 995人 埼玉1/16 582人 千葉1/15 504人 愛知1/7 431人)

【緊急事態措置まで行っていた各府県の時短要請 (※区域は各都府県・期間で異なる)】
 対象：接待を伴う飲食店等及び酒類の提供を行う飲食店等
 実施期間及び時短営業時間

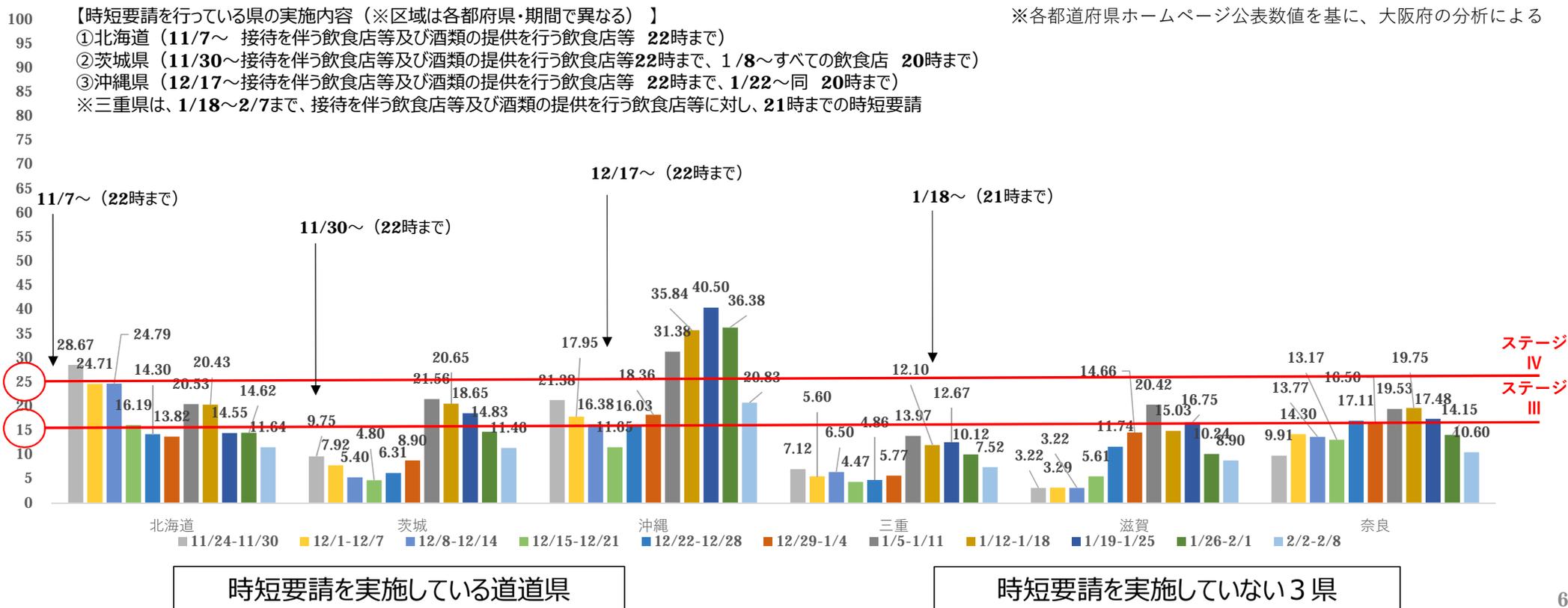
※各都道府県ホームページ公表数値を基に、大阪府の分析による



【参考】緊急事態宣言対象外都道府県 週・人口10万人あたり新規陽性者数

- ◆ 時短要請を実施している以下3県は、していなかった以下3県と比較し、12月中旬は新規陽性者数が減少。
- ◆ いずれの県も年始めに感染が急拡大しているが、時短要請の有無にかかわらず、新規陽性者数は直近1週間で減少に転じており、これは、全国的な感染拡大を受けて、国や各県の注意喚起等により、県民の行動変容が促されたものと考えられる。

緊急事態宣言対象区域以外の県で、週・人口10万人あたり新規陽性者数が多い県のうち、11月末又は12月上旬から時短要請を行っている3県と実施していない3県を抽出



週・人口10万人あたり新規陽性者数 前週比

- ◆ 大阪府は11/27以降の時短要請の効果が12月中旬以降の新規陽性者数の減少として顕著に表れ、それにより、1月5日以降の感染急拡大において、東京都と異なり、新規陽性者数が最大654人でおさまった可能性がある。(再掲)
- ◆ 緊急事態宣言区域では、それ以外の地域に比べ、新規陽性者数が大きく減少し、効果が見られる。

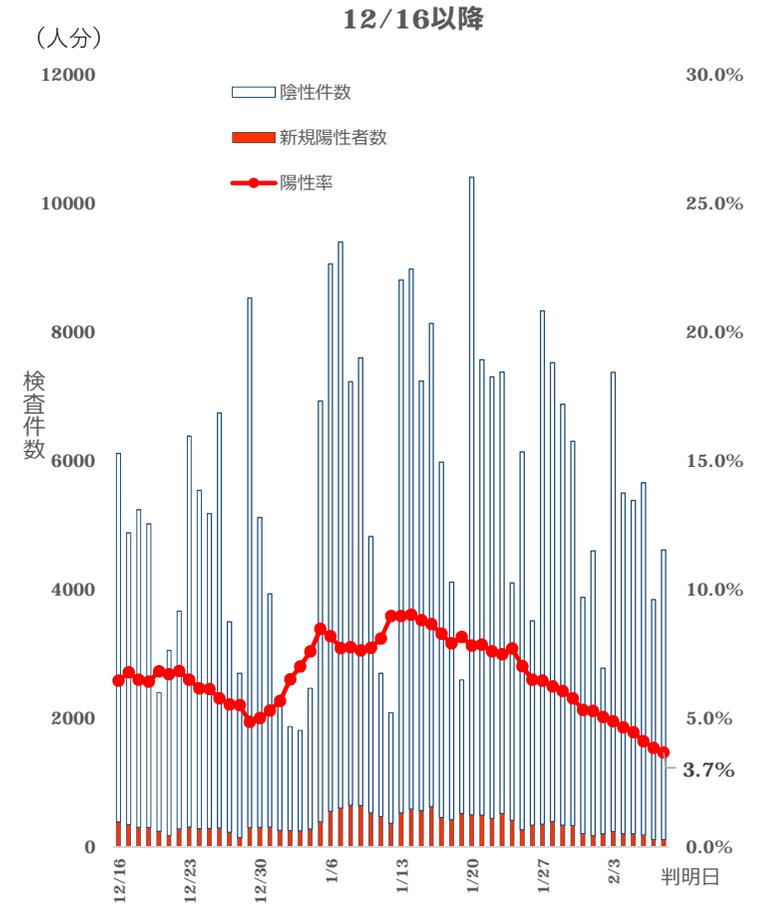
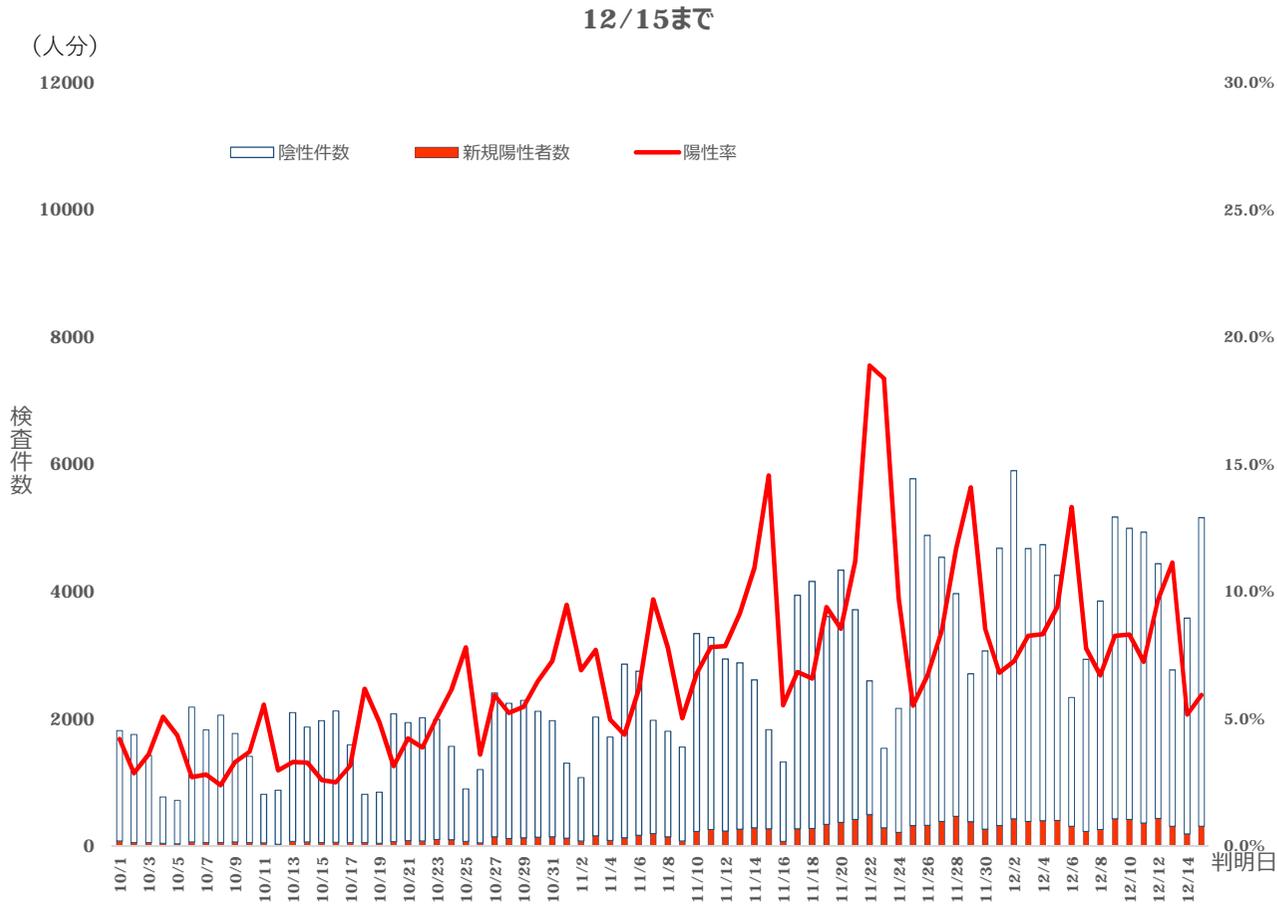
※各都道府県ホームページ公表数値を基に、大阪府の分析による

	緊急事態宣言区域										11月末から12月上旬にかけて 時短要請を実施			時短要請を実施していない ※三重は1/18～実施		
	埼玉	千葉	東京	神奈川	岐阜	愛知	京都	大阪	兵庫	福岡	北海道	茨城	沖縄	三重	滋賀	奈良
11/30-12/6	1.28	0.96	1.05	1.03	1.39	1.12	1.15	1.06	1.10	1.01	0.85	0.83	0.95	0.86	0.82	1.38
12/7-12/13	1.17	1.37	1.14	1.21	1.33	1.04	2.10	0.97	1.04	2.15	0.98	0.65	0.82	0.99	1.27	1.02
12/14-12/20	1.10	1.20	1.20	1.27	0.92	1.03	1.26	0.87	0.96	1.33	0.67	0.85	0.72	0.85	1.30	0.86
12/21-12/27	1.27	1.34	1.22	1.48	1.49	1.08	1.31	0.90	1.29	1.24	0.89	1.25	1.39	0.91	2.67	1.42
12/28-1/3	1.06	1.26	1.18	1.11	1.20	0.93	0.93	0.98	0.90	1.14	0.95	1.53	1.08	1.22	1.06	0.99
1/4-1/10	1.74	1.73	2.05	1.64	1.42	1.63	1.38	1.99	1.74	1.89	1.43	2.29	1.79	2.41	1.65	1.10
1/11-1/17	1.02	1.22	0.85	1.20	0.79	0.80	1.09	0.99	0.98	1.04	1.05	1.02	1.10	0.92	0.70	0.98
1/18-1/24	0.87	0.94	0.79	0.83	0.72	0.85	0.94	0.92	0.91	0.79	0.74	0.93	1.24	0.99	1.09	1.06
1/25-1/31	0.72	0.71	0.72	0.56	0.82	0.76	0.78	0.68	0.69	0.68	0.97	0.80	0.87	0.87	0.71	0.67
2/1-2/7	0.82	0.69	0.67	0.56	0.76	0.57	0.44	0.60	0.62	0.59	0.82	0.74	0.56	0.76	0.74	0.94

…前週比1倍以上
 …前週比0.9倍～1倍未満
 …前週比0.7倍～0.9倍未満
 …前週比0.7倍未満

検査件数と陽性率

◆ 陽性率は、1月15日以降低下し、2月8日時点で3.7%。



※12月15日より国システム（G-MIS）を使用し、算出方法を「1週間の陽性者数 / 1週間の検体採取をした人数」に変更

「大阪モデル」モニタリング指標の状況

分析事項	モニタリング指標	府民に対する警戒の基準	府民に対する非常事態の基準	府民に対する非常事態解除の基準	府民に対する警戒解除の基準	12/3	12/14	12/25	1/8	1/12	2/1	2/8	
						31回会議	32回会議	33回会議	34回会議	35回会議	36回会議		
(1) 市中での感染拡大状況	①新規陽性者における感染経路不明者7日間移動平均前週増加比	①2以上かつ ②10人以上	—	—	—	1.03	0.92	0.98	1.66	2.06	0.68	0.61	1/17以降1を下回り、減少
	②新規陽性者における感染経路不明者数7日間移動平均		—	—	10人未満	226.86	170.43	141.57	243.57	313.29	153.86	88.57	1/11をピークに減少
	【参考①】新規陽性者における感染経路不明者の割合	—	—	—	—	61.1%	43.8%	55.8%	58.4%	45.7%	35.4%	37.0%	1/28以降、概ね30～40%台で推移
(2) 新規陽性患者の拡大状況	③7日間合計新規陽性者数	120人以上かつ 後半3日間で半数以上	—	—	—	2620	2379	1919	3012	3854	2173	1295	1/12以降、減少
	うち後半3日間					1131	922	895	1821	1386	730	424	
	④直近1週間の人口10万人あたり新規陽性者数	—	—	—	0.5人未満	29.69	26.96	21.77	34.17	43.72	24.65	14.69	1/12以降、減少傾向
	【参考②】陽性率（7日間）	—	—	—	—	9.3%	8.1%	6.1%	7.8%	9.0%	5.3%	3.7%	1/15以降、低下し、直近2日は3%台
(3) 病床等の逼迫状況	⑤患者受入重症病床使用率（※）	—	70%以上 （「警戒（黄色）」信号が点灯した日から起算して25日以内）	7日間連続 60%未満	60%未満	66.0%	75.7%	68.6%	71.2%	72.5%	75.8%	64.8%	2/5以降、60%台
	【参考③】患者受入軽症中等症病床使用率	—	—	—	—	53.7%	70.5%	64.3%	63.4%	72.9%	67.9%	57.1%	2/3以降、50%台
	【参考④】患者受入宿泊療養施設部屋数使用率	—	—	—	—	35.2%	44.9%	31.5%	43.3%	60.7%	29.8%	19.6%	2/1に30%を下回り、減少傾向

（※）重症確保病床数は、12月15日時点。

2月5日以降、重症病床使用率は60%台となり、減少傾向。

【大阪府の主な取組状況】

- 12/3（31回会議） レッドステージ1に移行、できる限り不要不急の外出自粛要請（12/4～15）、飲食店営業時間短縮要請の延長（～12/15）
- 12/14（32回会議） 不要不急の外出自粛要請、及び大阪市全域の飲食店営業時間短縮要請（12/16～29）
- 12/25（33回会議） 不要不急の外出自粛要請、及び大阪市全域の飲食店営業時間短縮要請の延長（12/30～1/11）
- 1/8（34回会議） 不要不急の外出自粛要請、及び大阪市全域の飲食店営業時間短縮要請の延長（緊急事態宣言発出まで）
- 1/12（35回会議） レッドステージ2に移行、不要不急の外出自粛要請、及び大阪府全域の飲食店・遊興施設営業時間短縮要請（1/14～2/7）
- 2/1（36回会議） 不要不急の外出自粛要請、及び大阪府全域の飲食店・遊興施設営業時間短縮要請の延長（緊急事態措置実施期間中）

(参考) 新型コロナウイルス感染症対策分科会におけるモニタリング指標の状況

【緊急事態措置解除の考え方】 ※「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針（令和3年1月7日変更）」より
国内での感染及び医療提供体制・公衆衛生体制のひっ迫状況（特に、緊急事態措置を実施すべき区域が、分科会提言におけるステージⅢ相当の対策が必要な地域になっているか等）を踏まえて、総合的に判断。

	指標及び目安		1/8	1/12	2/1	2/8		2/8時点の	(参考) ステージⅢ 基準到達状況	2/8時点の目安 に対する状況		
			34回会議	35回会議	36回会議			目安に対する状況				
ステージⅣ	医療提供体制等の負荷	病床全体	・最大確保病床（1615床）の占有率 50%以上	63.1%	71.1%	76.8%	69.9%	1,129/1,615	●	20%以上	●	
			・現時点の確保病床数（1946床）の占有率	64.6%	72.8%	68.9%	58.0%	1,129/1,946	—	25%以上	●	
		うち、重症者用病床	・最大確保病床（215床）の占有率 50%以上	78.1%	79.5%	83.3%	71.2%	153/215	●	20%以上	●	
			・現時点の確保病床数の占有率	国基準（422床）	69.8%	67.3%	62.8%	56.6%	239/422	—	25%以上	●
				府基準（※）（236床）	71.2%	72.5%	75.8%	64.8%	153/236	—		●
		②療養者数	人口10万人あたりの全療養者数25人以上	54.78	66.36	54.26	37.41	3,298/88.15	●	15人以上	●	
	監視体制	③陽性率	10% ※ 1週間の平均	7.8%	9.0%	5.3%	3.7%	-	○	ステージⅣと同基準	○	
	感染の状況	④新規報告数	25人/10万人/週 以上	34.17	43.72	24.65	14.69	1295/88.15	○	15人以上	○	
		⑤直近一週間と先週一週間の比較	前週比	1.61	1.86	0.68	0.6	1,295/2,173	○	ステージⅣと同基準	○	
		⑥感染経路不明割合	50% ※ 1週間の平均	56.6%	56.9%	48.3%	47.9%	-	○	ステージⅣと同基準	○	

※府基準は、重症者用病床に関する確保病床数の占有率について、ハイケアユニット等に入院している者を除いて算出。

●：基準外 ○：基準内

2/8時点で、医療提供体制等の負荷に関する各指標以外はすべて、ステージⅣ及びステージⅢの基準を下回っている。

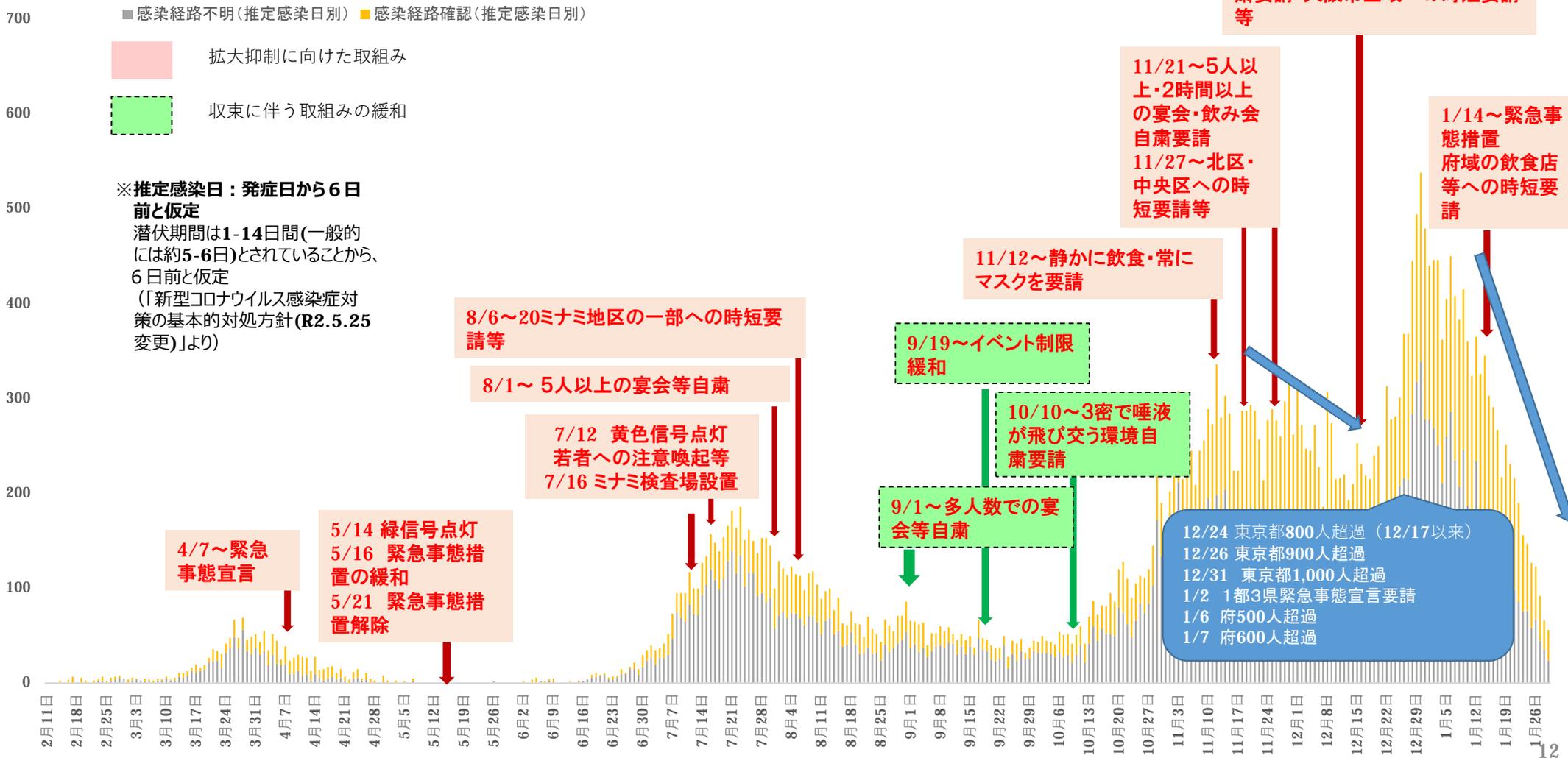
(参考) 国の重症基準に伴う取扱いについて

- 厚生労働省新型コロナウイルス感染症対策推進本部の8月24日付事務連絡により、新型コロナウイルス感染症患者の入院・療養状況の厚生労働省への報告について、「集中治療室（ICU）等での管理が必要な患者」の定義を変更。
- 大阪府においては、今後も重症基準、及び大阪モデルの指標や病床確保計画にける重症者の定義は変更しない。
（府の基準を大阪モデルの指標等の基準とする理由）
 - ・軽症中等症病床におけるHCU等在室者の全てが、必ずしも重症とはいえない。
 - ・人工呼吸管理下の重症患者が必ずしも、ICUに入室していない。
 - ・集中治療の基準が病院によって異なる可能性がある。
 - ・人工呼吸器やECMOの導入は、判断の差が出にくく、基準が明確。

国基準	府基準
以下のいずれかに該当する患者 ・人工呼吸管理をしている患者 ・ECMOを使用している患者 ・集中治療室（ICU）に入室している患者 ⇒「集中治療室（ICU）等での管理が必要な患者」とは、診療報酬上の定義により「特定集中治療室管理料」、「救命救急入院料」、「ハイケアユニット入院医療管理料」、「脳卒中ケアユニット入院医療管理料」、「小児特定集中治療室管理料」、「脳卒中ケアユニット入院医療管理料」、「新生児特定集中治療室管理料」、「総合周産期特定集中治療室管理料」、「新生児治療回復室入院管理料」の区分にある病床で療養している患者のことをいう。 ※下線部は、8月24日事務連絡による変更 【2/8時点】重症者数 239人/病床数 422床⇒使用率56.6%	以下のいずれかに該当する患者 ・人工呼吸管理をしている患者 ・ECMOを使用している患者 ・重症病床における集中治療室（ICU）に入室している患者 （令和2年3月19日付事務連絡に基づく） ※国には、国基準に基づき報告 【2/8時点】重症者数 153人/病床数 236床⇒使用率64.8%

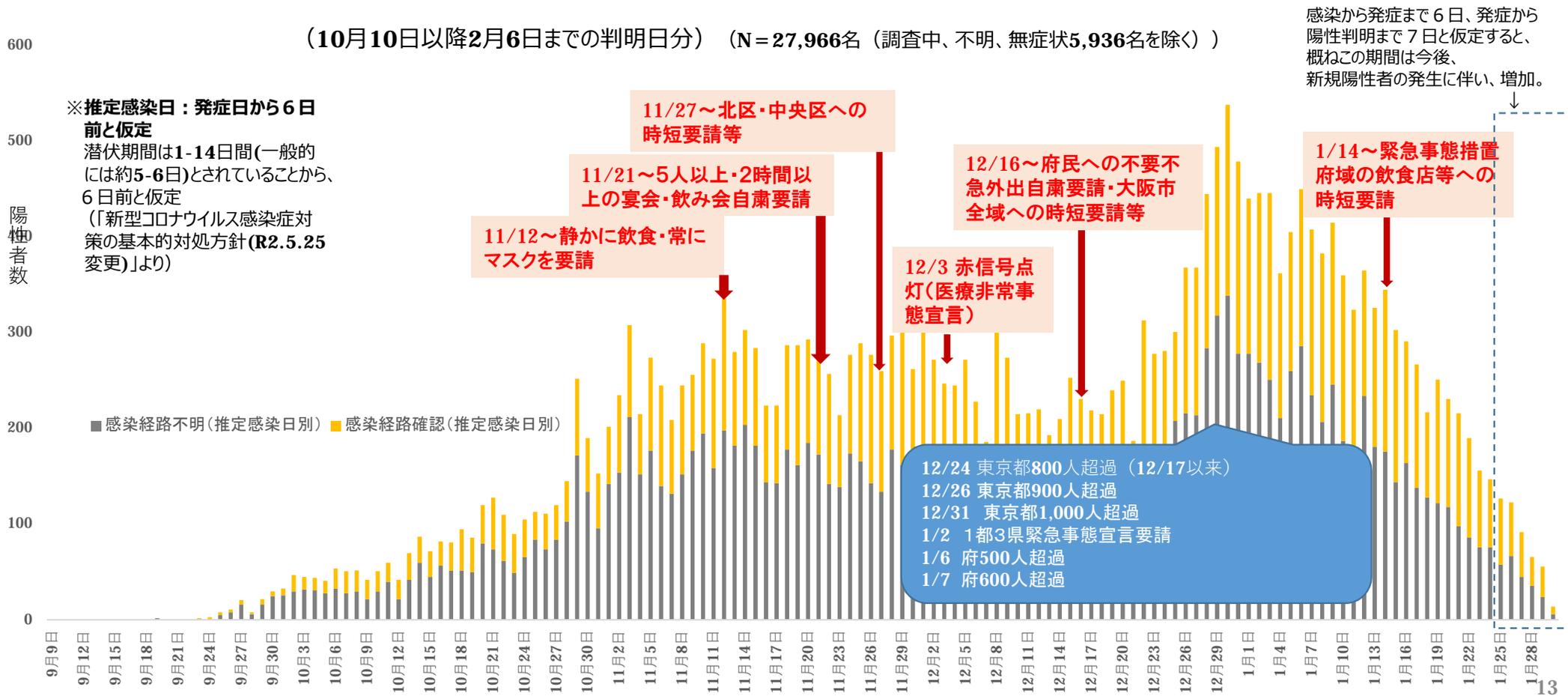
【第一波から第三波まで】推定感染日別陽性者数

(1月29日以降2月6日までの判明日分) (N=37,212名(調査中、不明、無症状7,747名を除く))



【第三波】 推定感染日別陽性者数

◆ 第三波は、第二波収束に伴う取組緩和とともに拡大。飲食を介しての感染が感染拡大の大きな原因であることから、飲食店などの営業時間短縮要請等「急所」を押さえた対策を講じ、11月27日以降、新規陽性者数が減少。しかし、クリスマス前後・年末年始のイベントや季節性の感染症であることを背景に感染が急拡大。12月30日をピークに減少に転じたが、その背景として、年末年始の外出自粛要請や首都圏の感染急拡大を受けて府民の行動変容がすすんだ可能性がある。また、1月14日以降の緊急事態措置により急減。

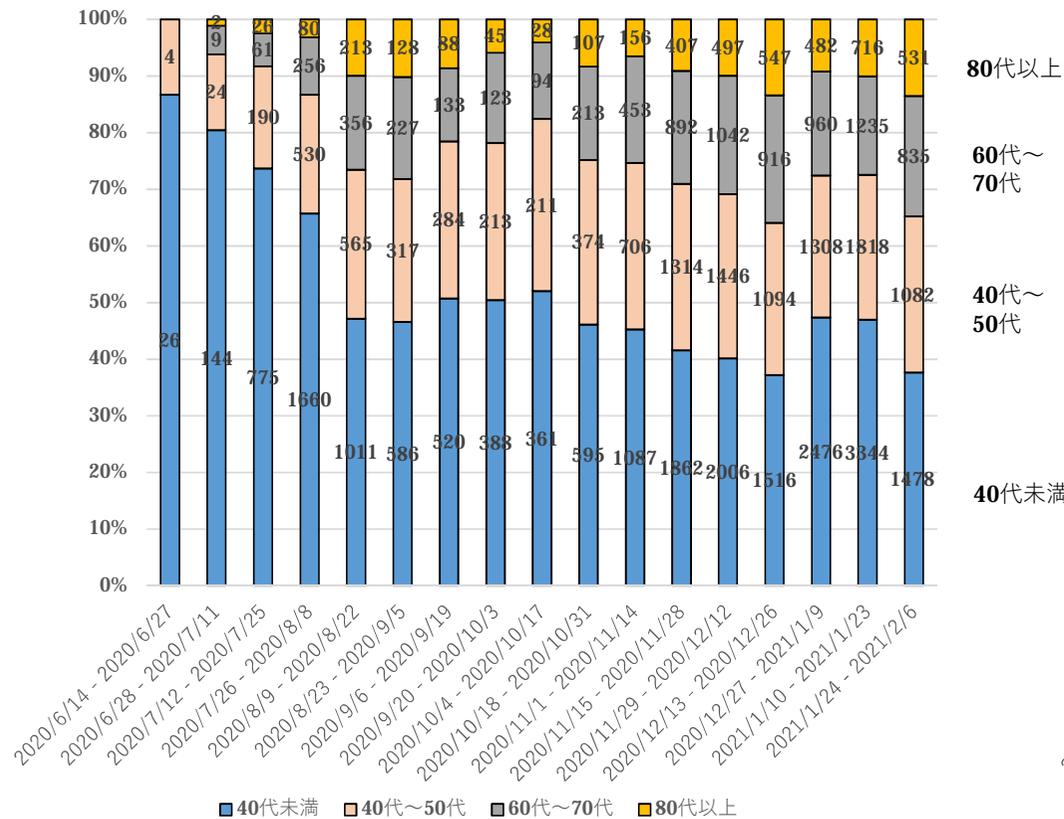


【第二波～第三波】陽性者の年齢区分

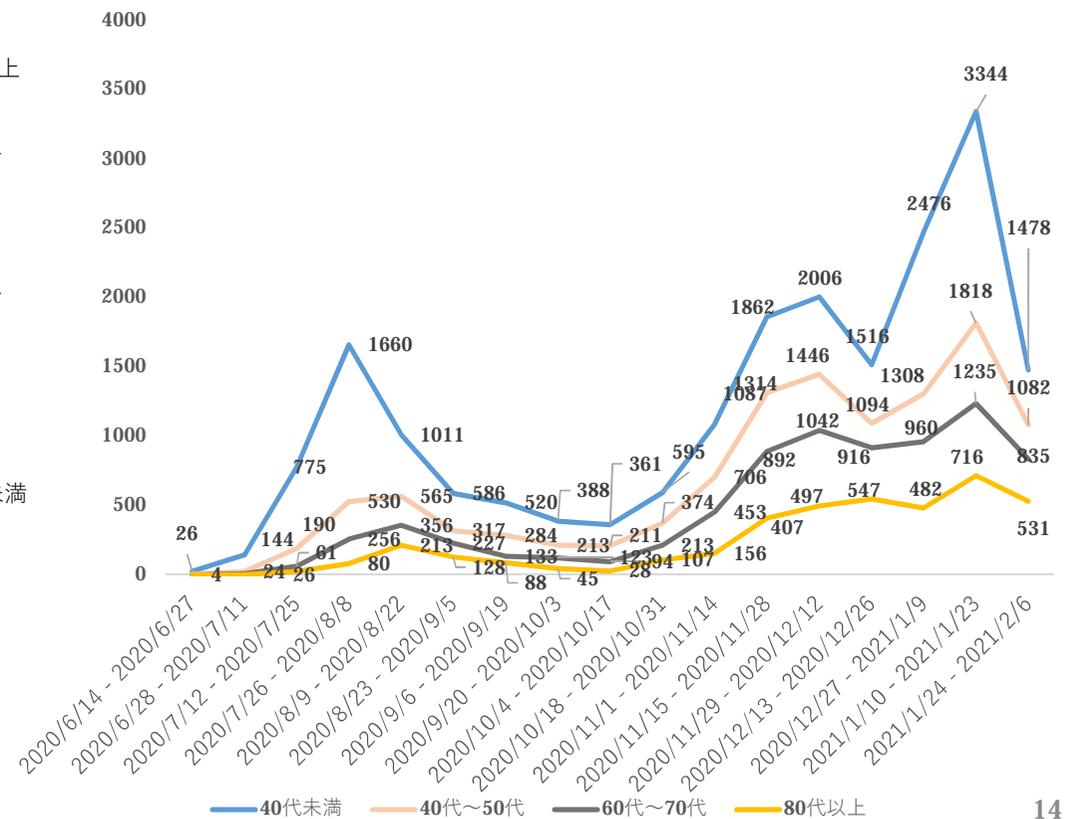
直近2週間で40代未満の割合が4割弱まで減少。一方、60代以上の割合が4割弱まで増加。

(6月14日以降2月6日までに判明した43,173事例の状況)

陽性者の年齢区分 (割合, 2週間単位)



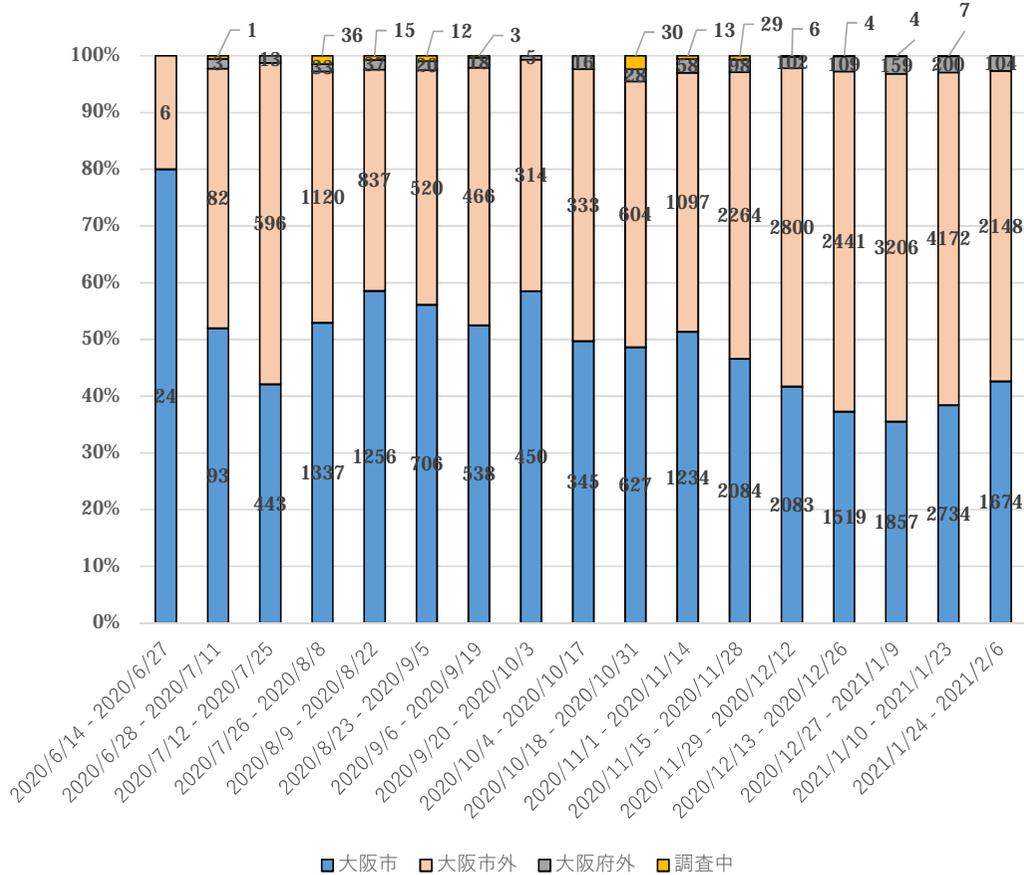
陽性者の年齢区分 (実数, 2週間単位)



【第二波～第三波】陽性者の居住地

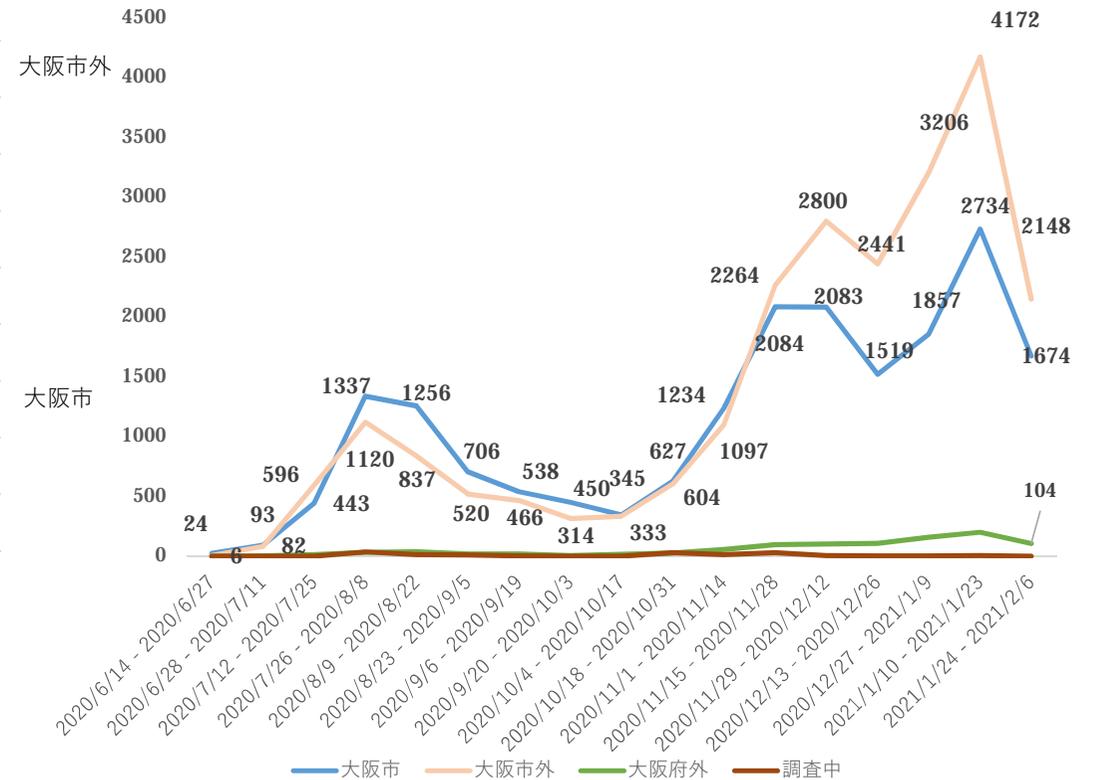
直近2週間で大阪市居住者の割合が増加。

陽性者の居住地区分（割合，2週間単位）



（6月14日以降2月6日までに判明した43,173事例の状況）

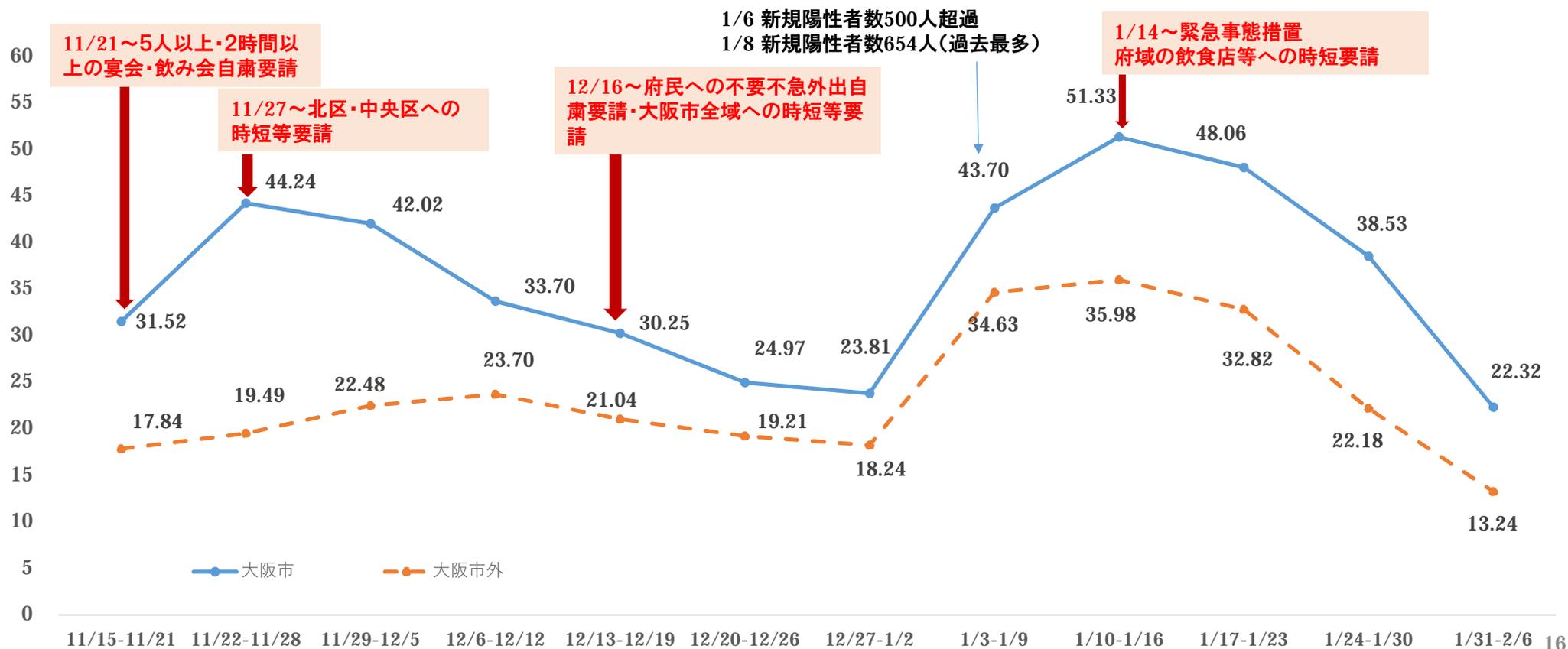
陽性者の居住地区分（実数，2週間単位）



大阪市・市外の陽性者比較（人口10万人あたり）

※市内外は居住地による
 ※居住地が非公表、不明、調査中、他都道府県等を除く

飲食店などの営業時間短縮等の要請後、新規陽性者数が減少していることから、要請は感染抑制に効果があったと考えられる。特に、北区・中央区への休業等要請後、大阪市居住者の新規陽性者数は大きく減少している。また、1月14日以降の府域への時短要請以降、新規陽性者数の減少幅が大きいことから、緊急事態措置における取組みの効果がうかがえる。



大阪市・市外 年代別陽性者比較 (人口10万人あたり)

※市内外は居住地による
※居住地が非公表、不明、調査中、他都道府県等を除く

市内・市外にかかわらず、全年代で直近2週間の人口10万人あたりの新規陽性者は減少。

週あたりの人口10万人あたりの新規陽性者数 (10代)



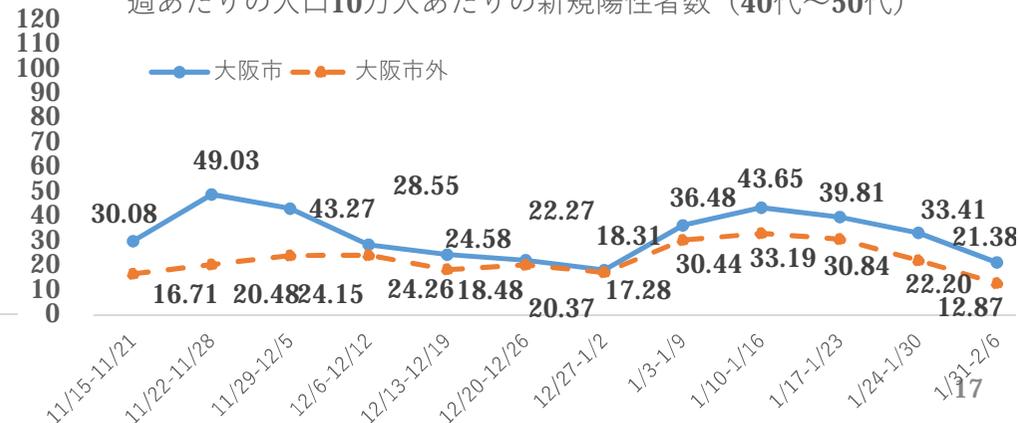
週あたりの人口10万人あたりの新規陽性者数 (20代)



週あたりの人口10万人あたりの新規陽性者数 (30代)



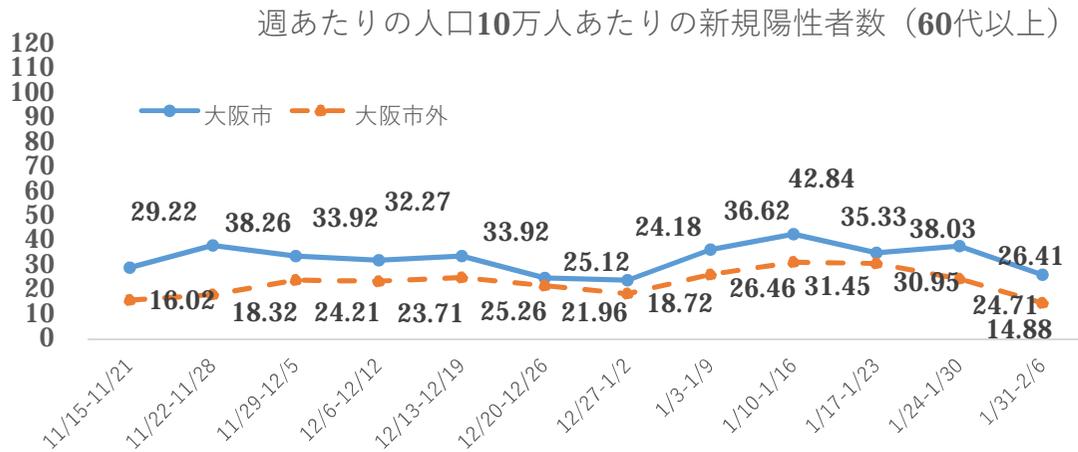
週あたりの人口10万人あたりの新規陽性者数 (40代~50代)



大阪市・市外 年代別陽性者比較（人口10万人あたり）

※市内外は居住地による
※居住地が非公表、不明、調査中、他都道府県等を除く

市内・市外にかかわらず、直近1週間の人口10万人あたりの新規陽性者は減少。

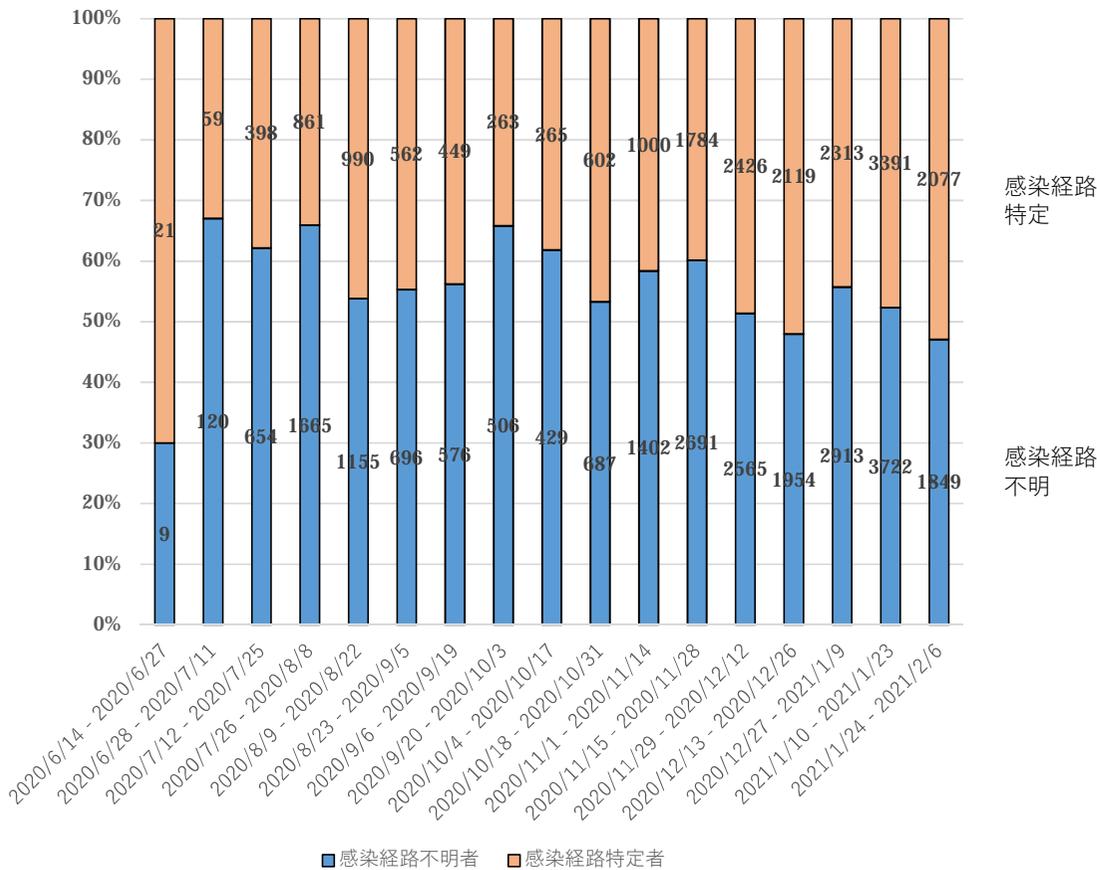


【第二波～第三波】陽性者の感染経路の状況

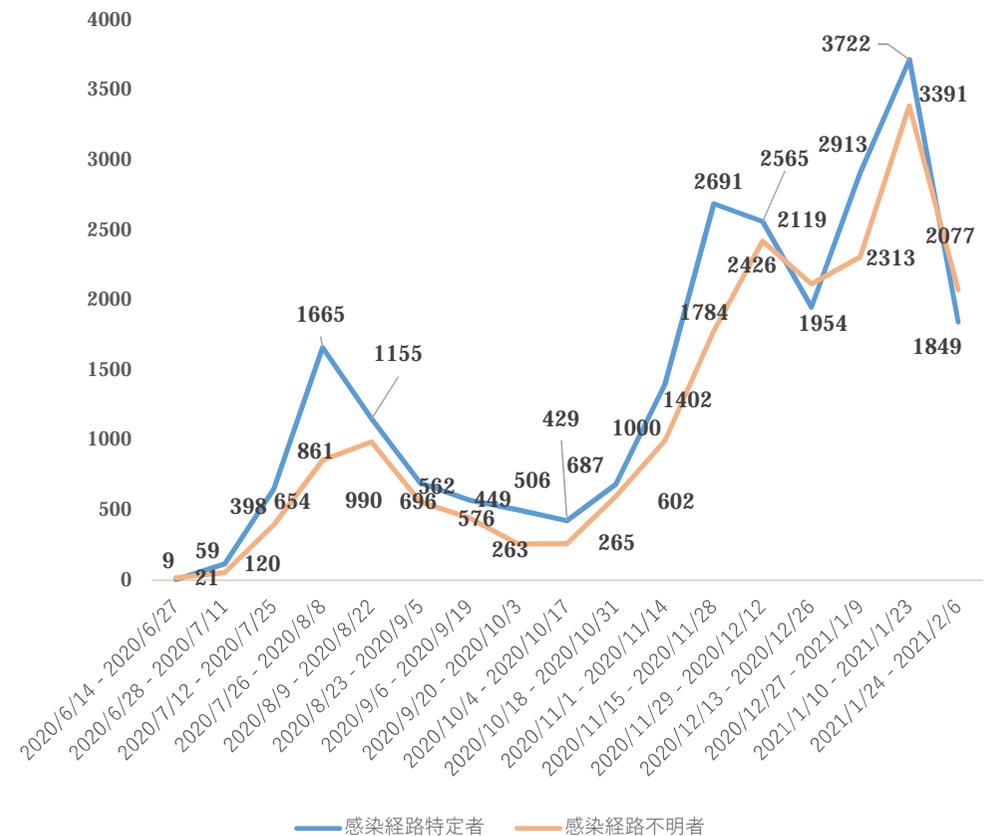
直近2週間で感染経路不明の割合が5割を下回り、12月下旬とほぼ同様の割合となっている。

(6月14日以降2月6日までに判明した43,173事例の状況)

感染経路の状況 (割合)



感染経路の状況 (実数)

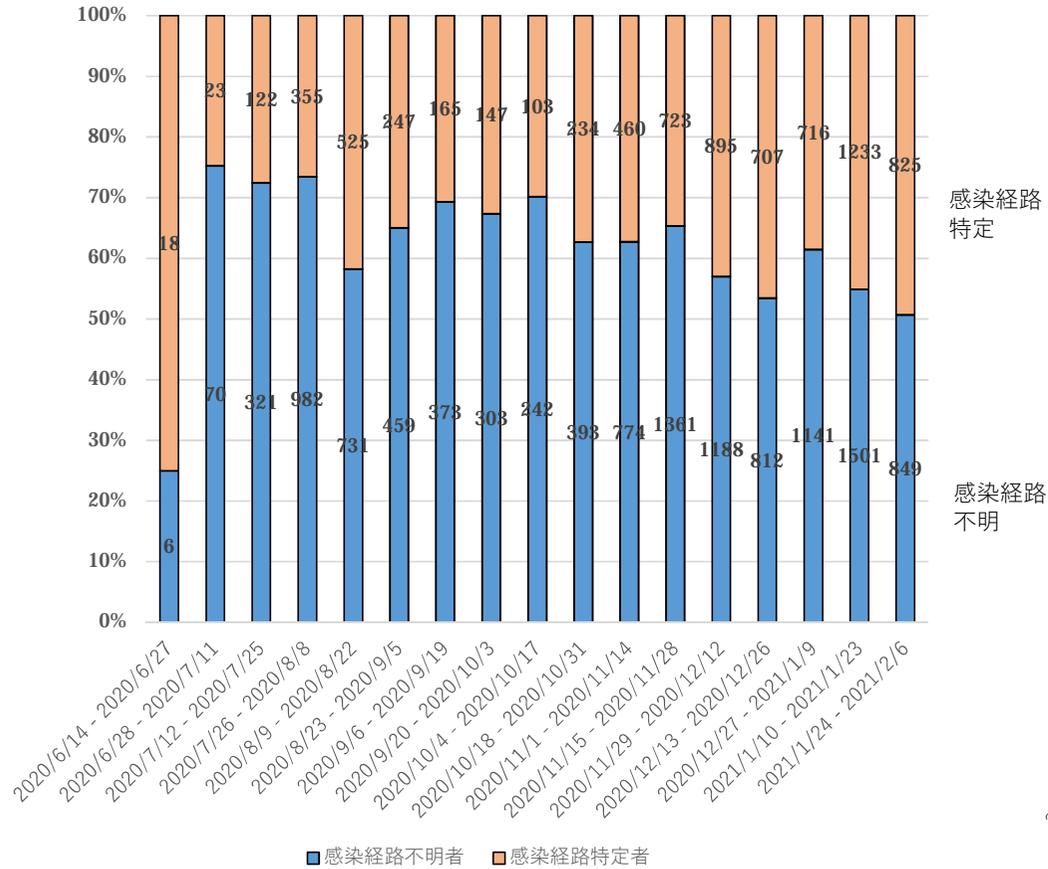


陽性者の感染経路の状況（大阪市内外）

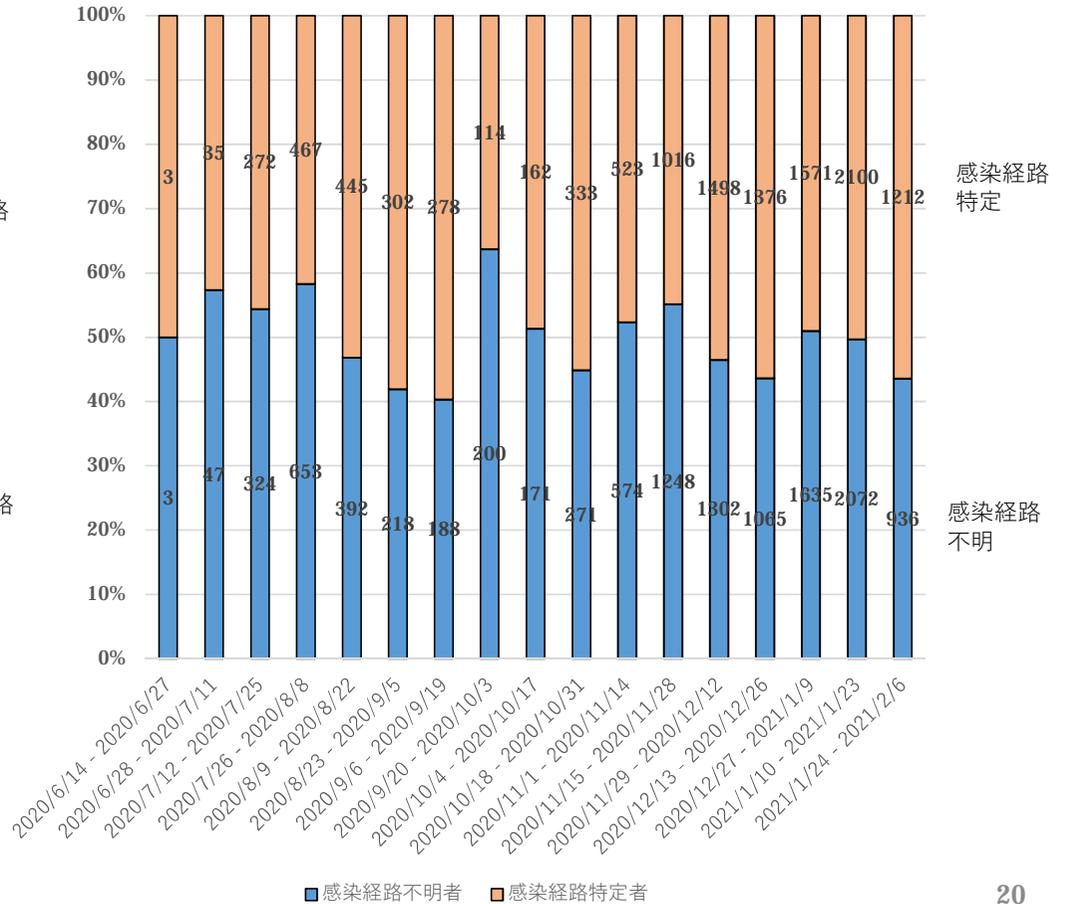
※市内外は居住地による
 ※居住地が非公表、不明、調査中、他都道府県等を除く

◆ 直近2週間で、感染経路不明の割合は市内・市外居住者ともに減少し、5割前後となっている。

感染経路の状況（大阪市内）

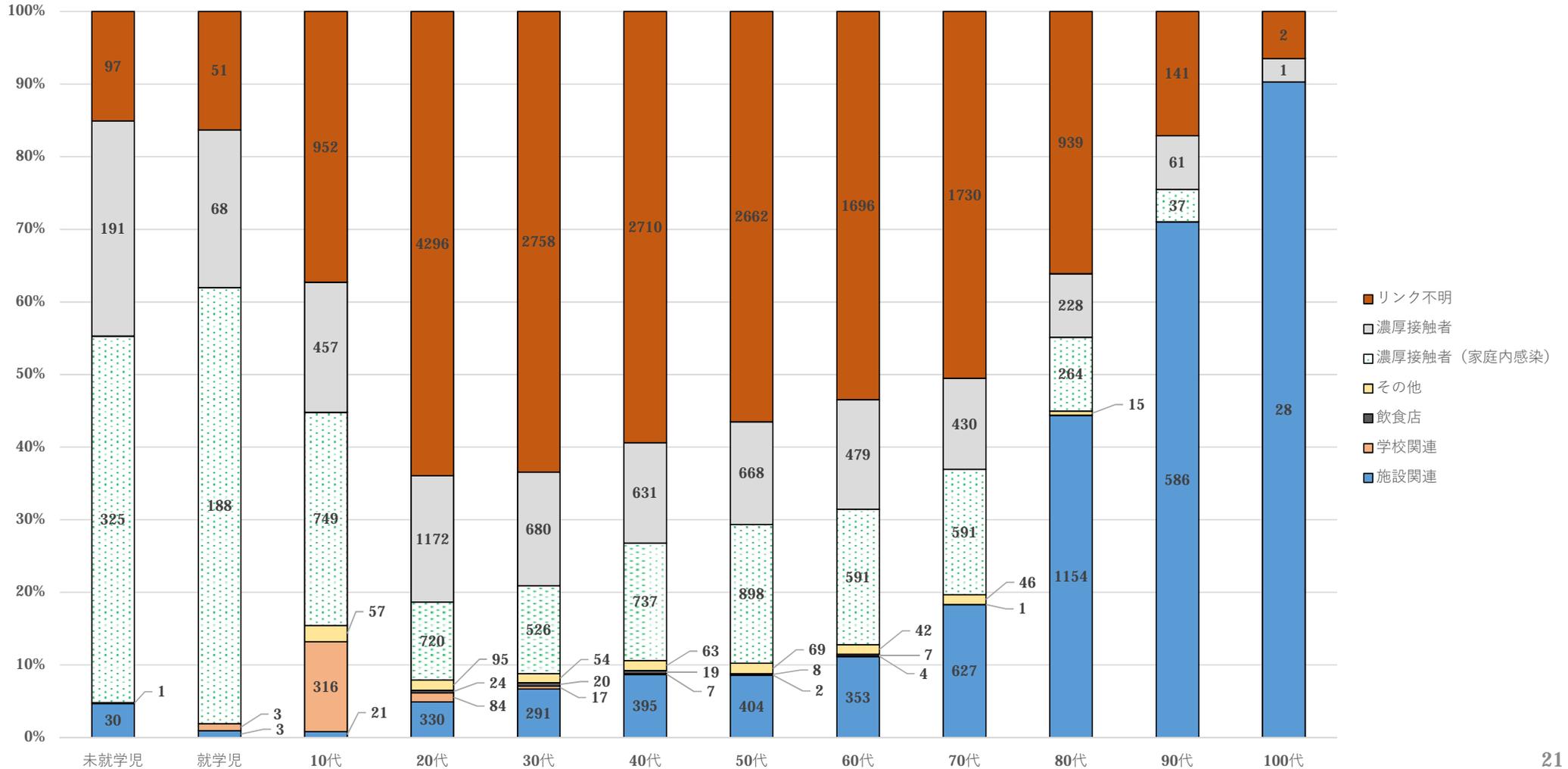


感染経路の状況（大阪市外）



年代別感染経路（第三波）

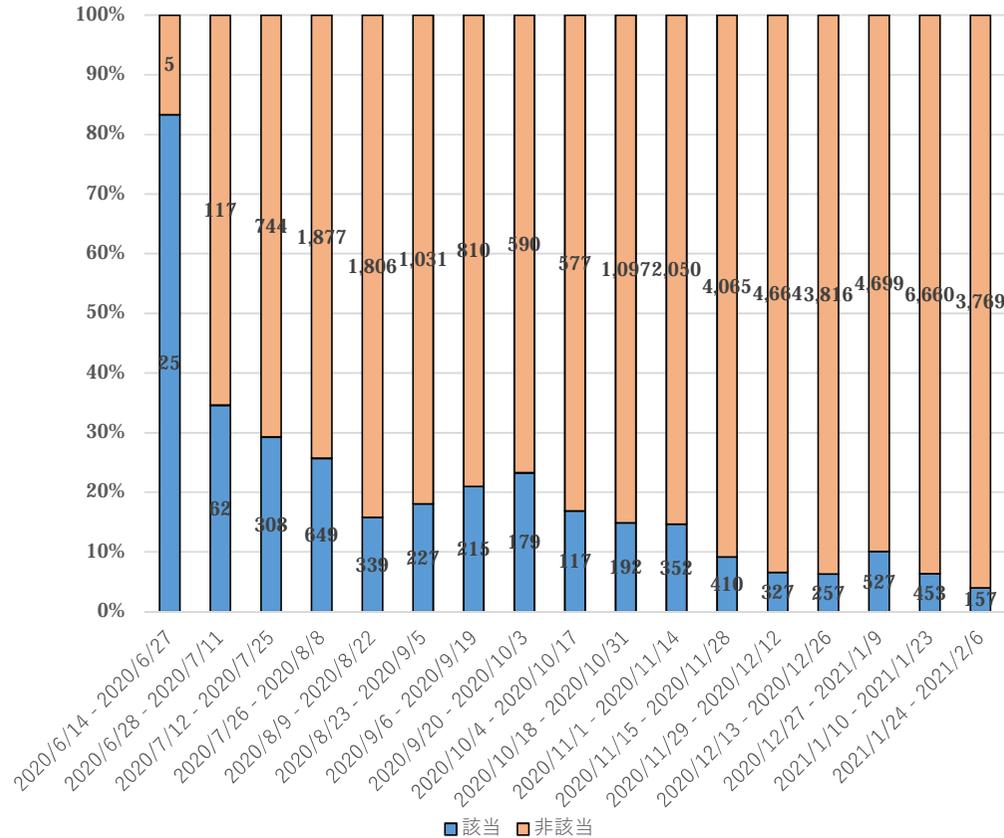
（10月10日以降2月6日までに判明した33,902事例の状況）



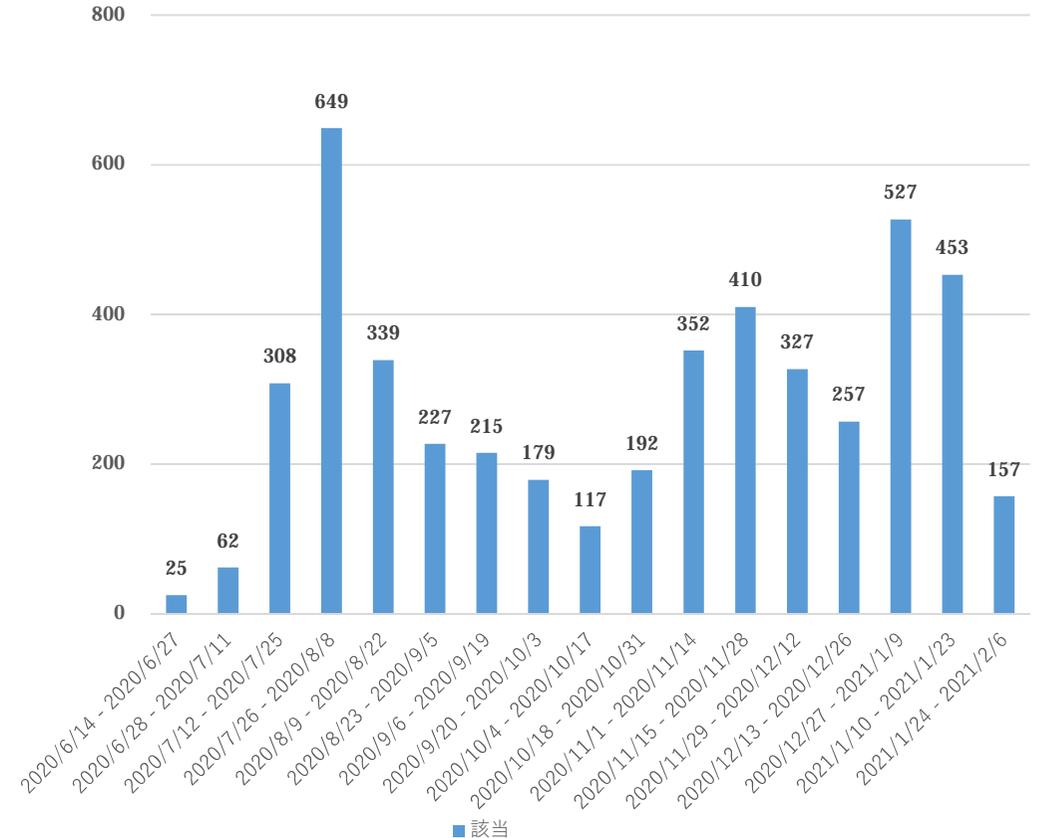
夜の街の関係者及び滞在者の状況（陽性者全体における該当者）

（6月14日以降2月6日までに判明した43,173事例の状況）

夜の街の関係者及び滞在者の状況（全件：割合）



夜の街の関係者及び滞在者の状況（全件：実数）

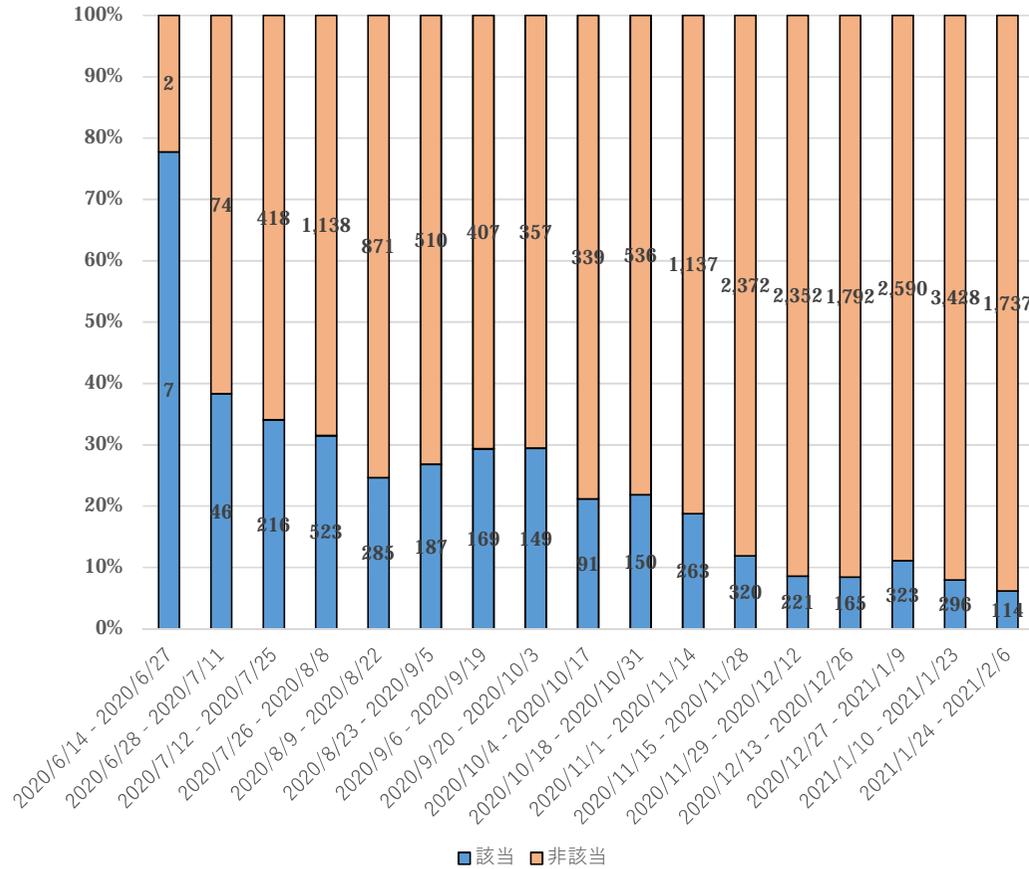


夜の街の関係者及び滞在者の割合・人数は、緊急事態宣言発出後、減少している。

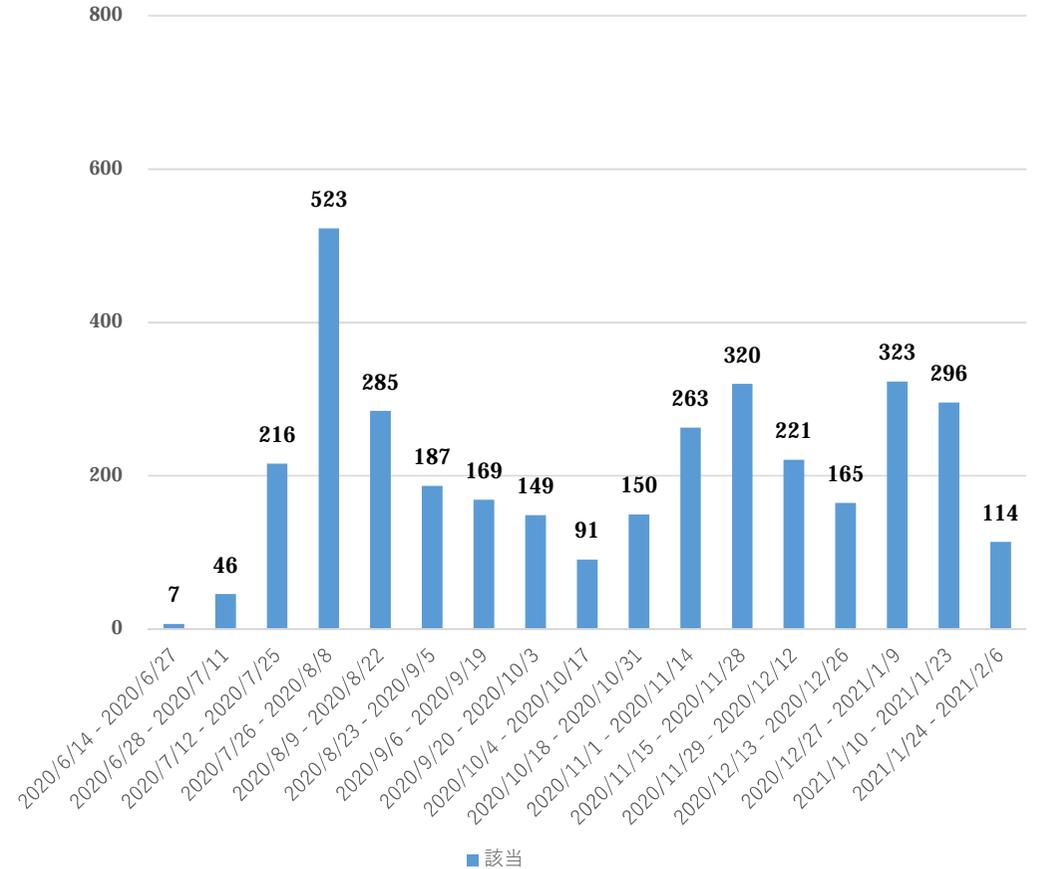
夜の街の関係者及び滞在者の状況（感染経路不明者における該当者）

（6月14日以降2月6日までに判明した感染経路不明者23,585事例の状況）

夜の街の関係者及び滞在者の状況（感染経路不明：割合）

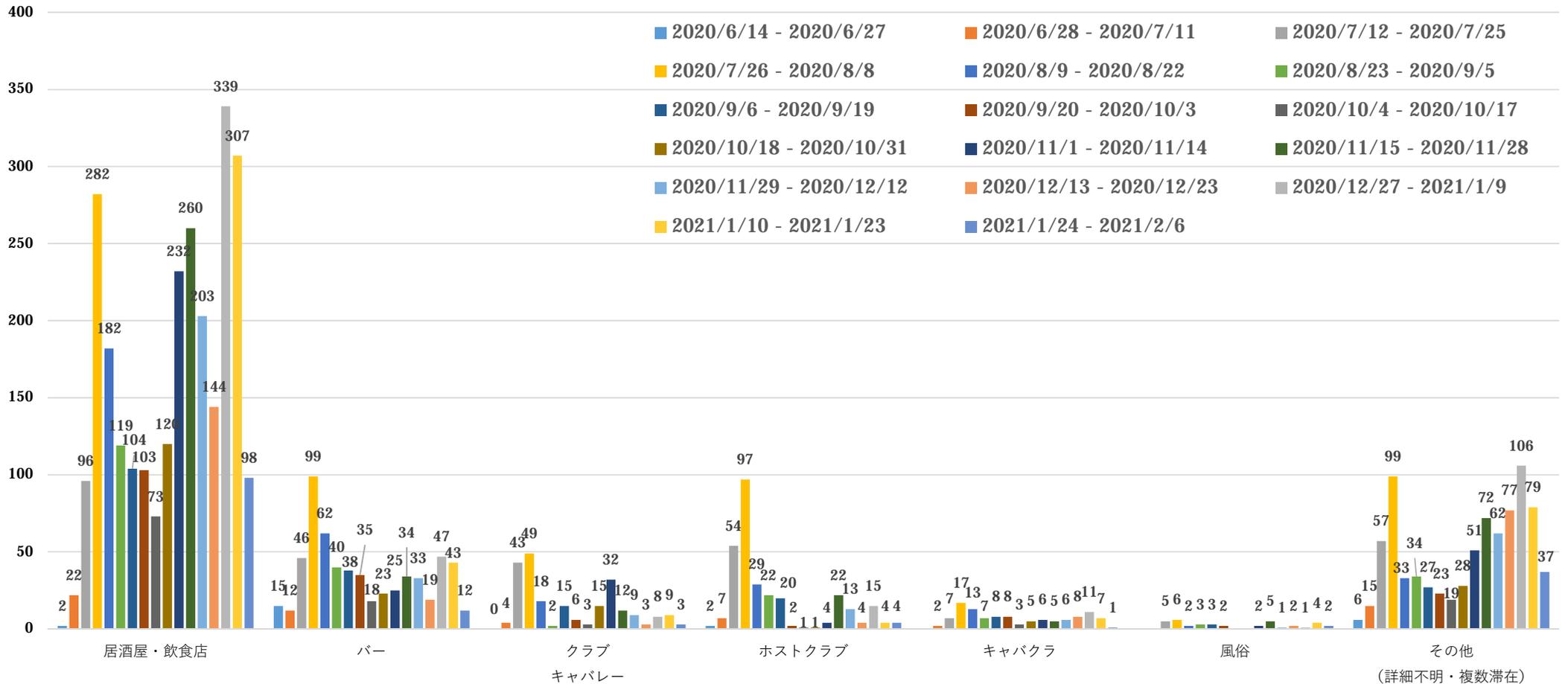


夜の街の関係者及び滞在者の状況（感染経路不明：実数）



夜の街の滞在分類別の状況

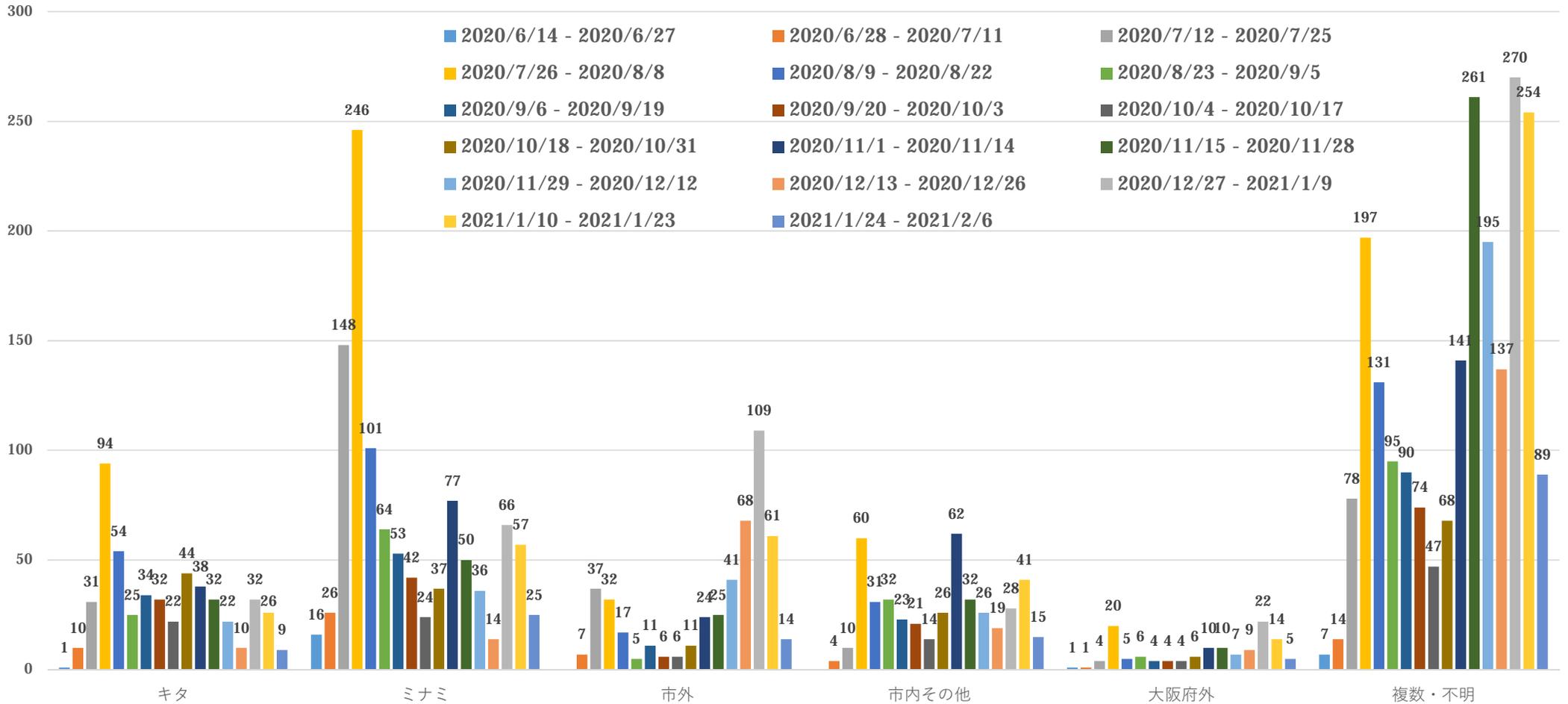
(6月14日以降2月6日までに判明した4,796事例の状況)



居酒屋・飲食店及びバーは、緊急事態宣言発出後、減少している。

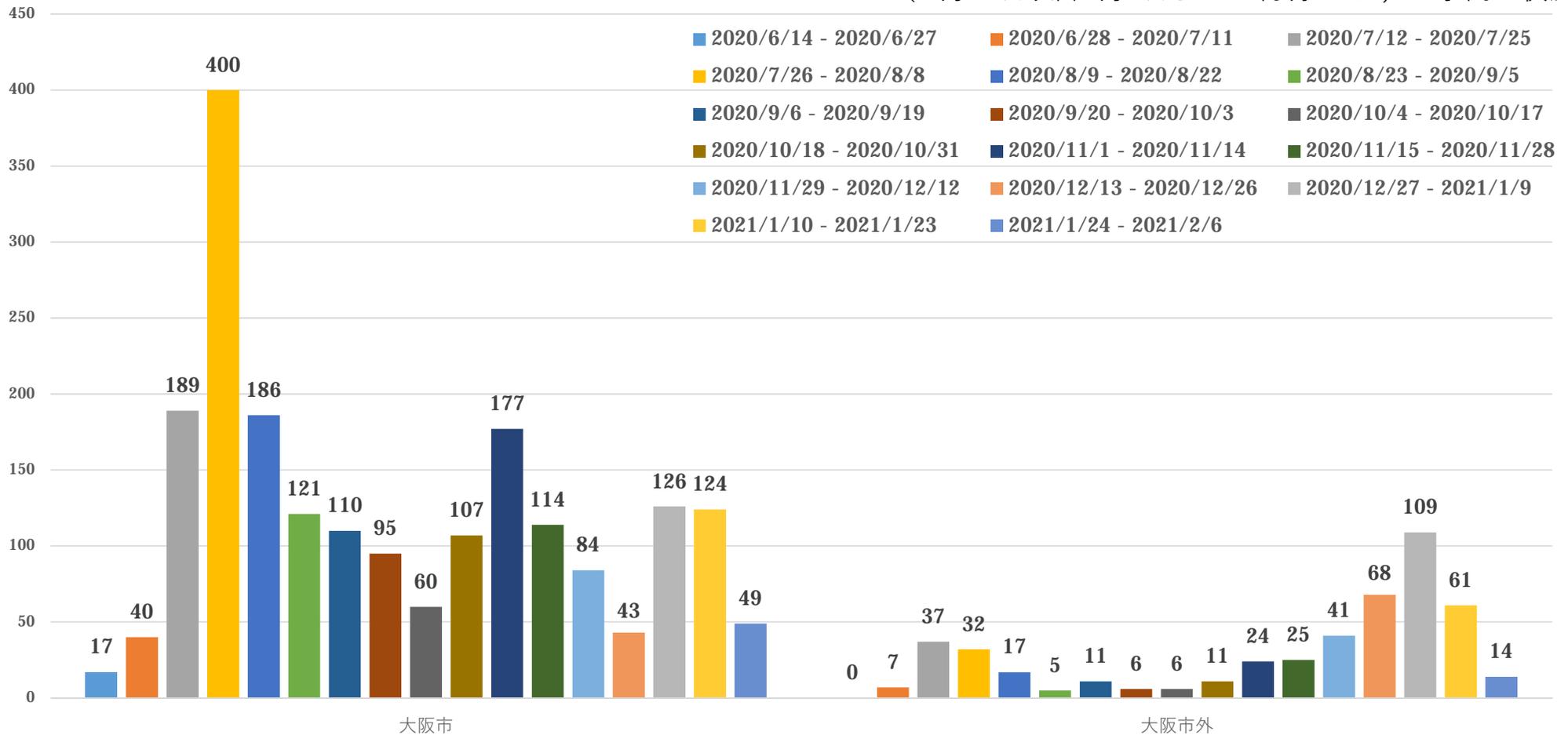
夜の街の滞在エリア別の状況

(6月14日以降2月6日までに判明した4,796事例の状況)



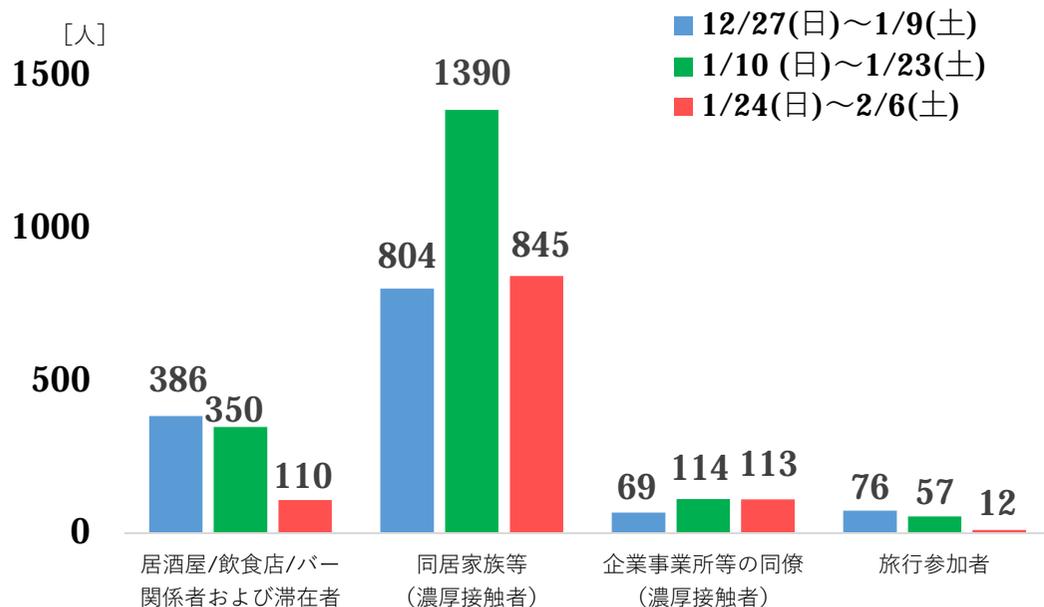
夜の街の滞在エリア別の状況

(6月14日以降2月6日までに判明した4,796事例の状況)



状況別の陽性者、感染の可能性があるエピソード

● 状況別の陽性者



※店の種別は、本人からの聞き取り情報による

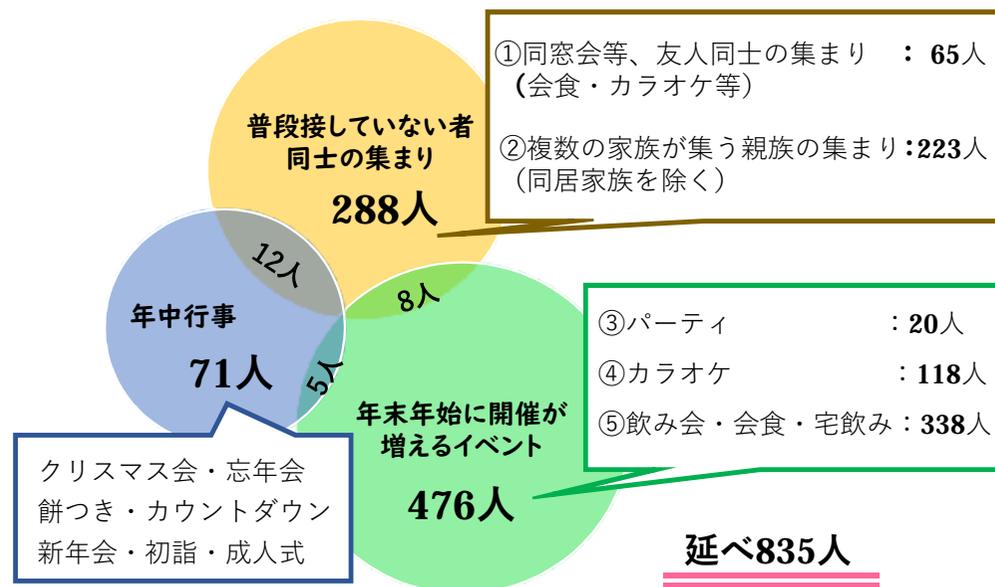
【全陽性者に占める割合】

状況	12/27-1/9	1/10-1/23	1/24-2/6
居酒屋/飲食店/バー関係者および滞在者	7.4%	4.9%	2.8%
同居家族等(濃厚接触者)	15.4%	19.5%	21.5%
企業事業所等の同僚(濃厚接触者)	1.3%	1.6%	2.9%
旅行参加者	1.5%	0.8%	0.3%

※全陽性者数：12/27-1/9 5,226名 1/10-1/23 7,113名 1/24-2/6 3,926名

新規陽性者に占める同居家族の割合が増加。

● 年末以降に、確認された感染の可能性があるエピソード



※12/26~1/30に発表された新規陽性者15,113人の行動歴より集計

※夜間に住居以外に滞在している場合は「夜街」と重複

※濃厚接触が確認できないものも含む

- ① 「同窓会」「同窓生同士の会食・カラオケ」等へ参加したもの
- ② 別居家族・親族との接触があったもの
- ③ 10人以上が集まった「パーティ」「宴会」等に参加したもの
- ④ 客として、カラオケができる店(バー・スナック等、飲食店を含む)に滞在したもの
- ⑤ 「会食」「食事」「宅飲み」「ホームパーティ」で「普段接していない者同士の集まり」と確認できないもの

年末年始イベントに関連する感染が、数多く確認された。 27

クラスターの発生状況

第一波のクラスターの発生状況
(1月29日以降6月13日まで)

	発表名称	件数	陽性者数	陽性者数 /件数
1	ライブ参加者	4 施設	48	12.0
2	大学の関係者	1 大学	8	8.0
3	医療機関関連	6 機関	284	47.3
計			340	

第二波のクラスターの発生状況
(6月14日以降10月9日まで)

	発表名称	件数	陽性者数	陽性者数 /件数
1	飲食店関連	5 店	45	9.0
2	大学・学校関連	3 校	48	16.0
3	医療機関関連	10機関	295	29.5
4	高齢者施設・障がい者施設関連	23施設	389	16.9
5	その他	4件	63	15.8
計			840	

第三波のクラスターの発生状況
(10月10日以降2月8日まで)

	発表名称	件数	陽性者数	陽性者数 /件数
1	飲食店関連	8店	82	10.3
2	大学・学校関連	30校	439	14.6
3	医療機関関連	58機関	1,913	33.0
4	高齢者施設・障がい者施設関連	126施設	2,302	18.3
5	その他	50件	513	10.3
計			5,249	

クラスターにおける陽性者数の割合

	第一波	第二波	第三波
クラスターにおける陽性者数	340	840	5,249
全陽性者数	1,786	9,271	34,138
割合	19.0%	9.1%	15.4%